



西山ハイキングクラブ

# にしやま

Nishiyama No.433

2022  
December

12



36年記念撮影 林ただし

## 忘れ物はありませんか

2008 年 8 月改訂

■日帰り必携装備			* は基本的な服装としてあげています
長袖シャツ*	ズボン*	登山靴*	
靴下*	雨具 (上下、折畳傘)	ザックカバー	
帽子	水筒 (テルモス)	ティッシュペーパー	
ゴミ袋	シュリンゲ	ヘッドランプ	
筆記用具	タオル	食料 (昼飯)	
非常食	地図	方位磁石	
健康保険証 (写し)	お助け袋・会員証	時計	
ホイッスル	個人常備薬	リーダーが指示したもの	
■その他、必要に応じて下記のを追加する			
手袋	ストック	着替え、靴下予備	
コップ	ナイフ	サングラス	
スパッツ	ツェルトまたはレスキューシート	靴紐予備、予備電池・電球	
■リーダーは上記のものに加えて下記のを持ってくる			
細引き (5 mm) 10 ~ 20 m	救急薬品一式	ライターまたはマッチ	

## ランクの目安

2011 年 3 月改訂

ジャンル	体力度・技術度	総歩行時間	歩行速度	高度差
超らく	★	4 時間以内	ゆっくり	あまりない
らくらく	★★	4~6 時間	普通	少しある
ビスターリ	★★★	6~7 時間	ゆっくり	ある
一般	★★★★	6~7 時間	普通	けっこうある
健脚	★★★★★	7 時間以上	速い場合あり	かなりある

## 解散後報告先

2021 年 12 月改訂

運営委員会・各部会関連	超らく・らくらく・ウォーキング	ビスターリ	一般	健脚・雪・岩・沢・テント
林ただし	五十棲節子 小西弥生**	峯尾靖子	岡庭美恵子	小原清志

\*\* は天王山トレーニングのみ

※会員でない人が参加する場合は、事前にリーダーに連絡してください。

## 今年を振り返ってみると

永柳辰夫

1年は過ぎてしまえば早いものです。年の初めは、色々な事をやってみようと考えていたはずなのに……。振り返れば出来た事とか出来なかった事とか、くよくよ思うばかりです。

初級山登りセミナーが3年振りに計画実施されました。コロナ禍で山行に参加する事も減って、脚力に不安を覚えながらも実技山行に参加していました。結果、足つりを起こして不安が的中。更に、修了山行では転落騒ぎを起こす始末。自力歩行で帰宅できた事は運がよかっただけでしょ。

「過去の体力、過去のもの」今の体力を知りましょう！！

教育部が毎年企画しているペース登山があります。12月は1年の締め括りとして、翌年3月はこれから1年の始まりとして、自分の山登りとしての体力を計ってみませんかの呼びかけで継続しています。どの山行に参加できるのかを会員自らが知って挑み、参加できるジャンルを増やしたいものです。今年は3月2回とも雨天中止になったので自主参加してみました。やはり「過去の体力、過去のもの」になっていました。1年に一回は参加して自己体力を知っておきましょう。

コロナ感染の波が繰り返され、年末から第8波が予想されています。私はワクチン接種するたびに熱を出すのですが、5回目の通知が届くと同時に済ませました。社会は経済活動の再開が叫ばれ、街には観光客が目立ち、人出も増えてきました。私たちの山行回数も元に戻ってきています。参加人数の制限を書いた案内も少なくなってきた傾向にあります。早く以前の例会案内の姿に戻って来て欲しいです。

総会の前後には退会するとか会友に移行するとかの申し出が多くなるのですが、今は目立ってありません。今年は入会者が10数名ありました。コロナ禍で停滞していた組織拡大の活動を徐々に進めた成果だったかと思います。新しい会員が西山の活動を継続して大きく発展させて行くことでしょ。

こうして今年を振り返りながら、早くも来年への期待を胸に膨らませています。皆さんも体力の維持だけでなく増進にも努めながら、西山に在籍していることを楽しく過ごしていきましょう。

# もくじ

---

例会案内	3
例会予告	25
山行報告	26
一言感想	66
運営委員会・専門部報告	76
リレー随想	83
投稿	84
掲示板	85
クラブインクラブ	86
表紙絵に寄せて	87
編集後記	88



## 太郎坊山（赤神山）

日にち 2022年12月2日(金)

集合 JR近江八幡駅改札口前 9:39

●巨岩が露出した山に神社がへばりついている特異な姿をした太郎坊山に登りましょう。太郎坊山=赤神山(350m)、箕作山(みつくりやま 372m)、小脇山(373m)、岩戸山(290m)と低山4峰を巡り、おまけで万葉の森・船岡山(152m)にも登ります。紅葉と眺望に期待しましょう。

●距離は短いです、最初と最後にうんざりするほど急で長い階段・石段がありますのでジャンルは一般としました。

●山行時雨天の場合は中止。不明時はCLまで問い合わせを。

●申し込みは締め切りました。参加予定はCL・SL含め16人です。

### 【交通機関等の注意事項】

※JR 京都駅 8:45 発近江塩津行電車が便利です。各駅発車時刻は……  
高槻 8:20→島本 8:25→山崎 8:27→長岡京 8:31→向日町 8:35→桂川 8:37  
→西大路 8:40→京都 8:45→山科 8:50→→9:36 近江八幡着

※近江八幡駅で近江鉄道に乗り換えます。近江鉄道はICOCA等ICカードが使えません。キップは全員分一括購入(一人往復700円)の予定ですが、時間がないので、トイレはJR電車内で済ませてください。太郎坊宮前駅のトイレは小さいので、あとは太郎坊宮でお願いします。

### 【アクセス・コース】 \*実歩行約3時間30分(総行動約5時間)

京都 8:45 発→<近江塩津行>→9:36 近江八幡(集合 9:39) 9:42→<近江鉄道八日市行>→9:57 太郎坊宮前駅~成願寺~太郎坊宮~太郎坊山(赤神山)~箕作山~小脇山~岩戸山~船岡山~市辺駅→→往路の逆

【持ち物】 日帰り必携装備、地図(25000 図「八日市」)、感染防止グッズ

CL : 馬場重明 (TEL 090-1025-1843)

※メール [sbaba4910@maia.eonet.ne.jp](mailto:sbaba4910@maia.eonet.ne.jp)

SL : 谷口信子

【解散後報告先：岡庭恵美子さん】

12月例会案内（ビスターリ）

雨天中止

## 金毘羅山～寂光院

日時：12月3日（土）

集合：9時10分 京都バス北大路バスターミナル停留所

京都市営地下鉄北大路駅下車です。

行程：北大路バスターミナル 9:20→9:55 静原・城山 10:00……

10:40 江文峠……11:30 金毘羅山△572.5m 昼食 12:00……12:40 翠黛

山・577m……13:30 寂光院……14:00 大原 14:30→国際会館（解散）

C L：松宮秀隆 090-2049-1943 zborataro1943@ezweb.ne.jp

S L：操谷俊之 090-1916-1452

参加申込：松宮まで。

岩トレでおなじみの金毘羅山に登ります。ただし、岩登りはしません。ロックゲレンデを横目で見ながら頂上を目指します。頂上からは大原方面や京都市内方面を展望できます。下山は晩秋の大原へ。

持物：日帰り一般装備、山と高原地図「京都北山」

解散報告先 峯尾靖子さん

12月例会案内（ビスターリ）

雨天順延

## 島本尾根から太閤道

JR 島本駅からふれあいセンター裏の尾根を登って太閤道をピストンします。

昨年同じ時期に訪れた金竜寺跡は一面イチョウの葉の落葉で黄色く染まっていました。

日時： 12月 3日（土）雨天時は翌日 12月 4日（日）

集合 JR 島本駅東口（阪急水無瀬駅側）9時

コース JR 島本駅—ふれあいセンター—島本尾根—太閤道—  
若山(P.315.2) —展望所—金竜寺跡—（戻る）—島本尾根—  
JR 島本 歩行時間 4時間程度

持ち物 日帰り必携装備、マスク、除菌グッズ、  
（昼食後にギンナン拾いをする方は軍手かナイロン手袋、  
ナイロン袋等・・・ぎんなんが落ちていればですが）

申込み 11月 28日（日）から 30日（火）までにお申込みください。

C L 猪倉美佐子（Tel 090-5361-3888）

S L 猪倉 清

解散後報告先 峯尾靖子さん



教育部

## ペース登山 【愛宕山 第1回目】

※参加は会員のみです

皆さん、いずれかの日程で参加して下さい

「過去の体力、過去のもの」いまの体力を知りましょう！！

新しい会員はペース登山を（必ず一度は）体験してください。

昨年は83分から162分の幅で平均111分でした。

遅れる・待たせるなどと気兼ねしないで参加しませんか

と言うことで今回から次のように参加者を募ります。

第1回目はこれまでの山歩き経験から

100分前後（±20）で歩ける皆さんです

日	時	2022年12月4日（日）
集	合	阪急嵐山駅前バス停：8時25分集合 8：31発清滝行きバス乗車 現地集合：8時55分（金鈴橋渡った付近）
コ	ー	ス
ル	ー	ス
リ	ー	ス
ダ	タ	CL：島田江里子 090-3703-5375 SL：福田設子 090-5901-9206

参加者の皆さんへお願い 事前に申込みをください（当日参加も可）

（1）降雨による実施判断は当日7時前までに問合せください。

雨具、防寒具は常時携帯すること。\*天候により軽アイゼン

（2）山頂で待機の時、汗で身体冷え防止に着替え忘れないように。

（3）休憩など調子を整えて“自分のペース”で登ってください。

（4）登頂時間は、各自の時計で報告してください。

3合目・5合目・水尾別れ 各東屋の通過タイムも控えてください

連絡事項

- ・次回12月21日（水）目安「120分（±20）」の皆さん  
今後3/7、3/25を予定しています。
- ・自主的に実施した会員は、永柳まで連絡ください。

【解散後報告先 林ただしさん】

古都・まち歩き **大徳寺～清明神社**

今年は千利休生誕500年の年です。侘茶を大成させたその足跡をたどり、ゆかりの地を訪ねます。大徳寺では、千利休やそのまわりの人物にまつわる数多くの塔頭をゆっくり巡りましょう。

日時 2022年12月5日(月)

集合 四条堀川バス停 北西乗り場 8時45分 または  
大徳寺バス停 (SLが待機) 9時30分  
・JR 京都駅より京都市営バスで約30分  
(101・205・206)  
・地下鉄北大路駅より京都市営バスで約5分  
(1・101・102・204・205・206・北8・M1)

コース 四条堀川バス停 8:58 発→大徳寺→小川通り(裏千家・表家・武者小路千家)→清明神社→一条戻橋 12:00 解散

持ち物 雨具 コロナ感染予防グッズ

申し込み 11月30日までに CL にお申し込みください

CL 和泉奈緒美 090-7490-4183

SL 林 導 080-3767-0749

解散後報告先 五十棲節子さん

## 玄岳、伊豆三山（城山、葛城山、発端丈山）

くろだけ

じょうやま かつらぎさん ほったんじょうやま

富士山を見るシリーズといっても昨年もできていません。今回の伊豆三山はマイナーなところですが、低山ですが縦走なので7時間強かかります。富士山展望目的ですが天気はわかりません。ショートカットする場合があります。

日時：2022年 12月5日（月）～6日（火）

12/5 京都駅 7:51 ひかり 640号=9:57 三島駅 10:09=10:23  
熱海駅 10:55 東海バス=玄岳ハイクコース入口 11:13  
—玄岳 タクシー移動=韮山駅=大仁駅—宿  
11月号掲載から変更しています 歩行 3時間

12/6 宿—城山峠—城山 342m—葛城山 452m—発端丈山 410m—三  
津シーパラダイスバス停=バス=伊豆長岡駅=三島駅=京都  
11.2km 歩行 7時間強  
三島駅 17:46 ひかり 521号乗車予定=19:37 京都駅

費用 JR 新幹線、伊豆箱根鉄道、東海バス 各自  
宿、タクシー代、他 10000円程度

CL 深田雅子 080-6144-3650

SL 池澤晶子

参加者：池澤晶子、井上美智子、大田喜代恵、草場眞知子、  
能登恵美子、深田雅子

宿： 大仁温泉一二三荘

留守本部 岡庭美恵子さん

12月例会案内 一般

西山ハイキングクラブ

雨天(荒天)中止

## ポンポン山道なき道

### 空谷橋(南尾根) ～ポンポン山～原大橋

空谷橋(空谷南側尾根) から道なき道を行き、東海自然歩道に出て本山寺経由で原大橋バス停に下山します。日没が早いので距離は短めです。以前に行っています。

日時： 2022年12月6日(火)

集合場所： JR高槻駅北側高槻市営バス乗り場 7時40分  
7時53分発二料行乗車

コース： JR高槻駅北バス停7時53分乗車→バス停空谷橋→空谷南側尾根→P522→東海自然歩道分岐→東海自然歩道→本山寺→ロータリー→バス停→JR高槻駅北

解散

持ち物： 日帰り一般装備 地図は必携 細紐  
エリアマップ(京都西山)  
2万5千図(淀・法貴・京都西南部・高槻)  
コロナ対策グッズ

申し込み： 雨などで中止の場合に連絡しますので、  
SLまで申込みください。

CL： 林 ただし 090-6986-4392

SL： 木地 弘恵 090-3944-3560

解散後報告先： 岡庭美恵子さん

12月例会案内 一般

西山ハイキングクラブ

雨天(荒天)中止

## 北山 瓢箪崩山と周辺

秋も深いので、概ね一般道を辿ります。一部、一般ルートを外れます。  
日没が早いので短めのコースです。

日時: 2022年12月8日(木)

集合時間: 8時15分 (8時32分大原・小出石行きに乗車)

集合場所: 京都バス 国際会館駅前

コース: 京都バス国際会館駅前8:32発＝戸寺～長谷の河野分岐あたりから南の尾根にとりつく(道なき道)～P344～瓢箪崩山532.0m～p461～八瀬叡山口 叡山電鉄・出町柳

持ち物: 日帰り一般装備 エリアマップ(京都北山2020)  
2万5千図(花脊 カシ米尔3D) クマよけ鈴  
コロナ禍対策グッズ(マスク)

申し込み: 12月1日8時以後 SLまで。10人程度  
荒天など中止の場合連絡します。

CL: 林 ただし 090-6986-4392

SL: 岡庭 美恵子 080-5703-8641

解散後報告先: 岡庭美恵子さん



## 山本山～賤ヶ岳

3月に雪の賤ヶ岳、5月に新緑のよごいちを歩きました。  
今回は南の山本山から「湖の辺の道」を北上し賤ヶ岳に登り飯浦切通しから湖畔に下ります。（余呉湖の、この日の日没は16:42です。がんばって歩きましょう。）JR河毛駅から登山口朝日山神社まではバスが廃止になったので約1時間ほど道路を歩きます。

日時： 12月10日（土）雨天の場合は12月11日（日）

集合 ②番線・京都6時33分発琵琶湖線快速長浜行き乗車  
(乗換)7:57着長浜発8:00—河毛着8:08（長岡京6:21発長浜直行でも可） 真ん中あたりに乗車

コース ・JR河毛駅—舗装路—朝日山神社—山本山—西野水道—  
西野山—湖北丸山—賤ヶ岳—飯浦切通し—登山口—余呉湖  
東側半周徒歩—JR余呉駅 歩行時間7時間半位  
・余呉駅発 16:11—京都着 17:42、(米原経由・毎時11分発)  
(16:29発は近江塩津乗換・湖西線 毎時29分発)

持ち物 日帰り必携装備、防寒具、手袋、マスク、除菌グッズ、  
ヘッドランプ（要点検）地図 1/25000 木之本

申込 12月1日（木） 夜8時から10名程度

切符 申込時に青春18切符の有無、JR乗車駅をお知らせ下さい  
人数の都合で各自調達になるかも知れません(2,410円/人)

C L 猪倉美佐子 (Tel 090-5361-3888)

S L 猪倉 清

解散後報告先 岡庭美恵子さん

## Viva around 唐櫃越⑧

Viva around 唐櫃越シリーズ第8弾です。

今回は松尾谷林道から渡渉して丁塚へ、丁塚から沓掛山に行き、祠に降りる手前の北東に伸びる尾根を松尾谷林道の11号橋へ下山します。渡渉や11号橋への下山が前日の天候によっては、危険な箇所がありますので、ルート変更をする場合があります。

(増水の場合はお墓から丁塚へ、11号橋へは下山せずに祠から松尾谷林道へ下山します。)

日 時 : 2022年12月11日(日)

集 合 : 阪急上桂駅 西改札口辺り 9時00分

コース : 阪急上桂駅→松尾谷林道1号橋手前(ストレッチ)→渡渉→丁塚→唐櫃越→沓掛山(p414.7、昼食)→北上→分岐北東→11号橋→松尾谷林道→阪急上桂駅  
解散 15時00分頃

持ち物 : 日帰り一般装備 地図(1/25000 京都北西)  
感染防止対策グッズ 弁当  
(出来ればストック持参)

申し込み : 定員10名程度  
12月4日からCLにお願い致します。

CL 小西 弥生 090-2380-4687

SL 村田 君代 090-9703-7175

解散後報告先 岡庭美恵子さん

## 天王山（トレーニング）

11月中旬の天王山はナンキンハゼの紅葉・黄葉が青空に映えて美しかったです。（ナンキンハゼは鹿島さんから教わりました）  
久しぶりの天トレはお喋りにも花が咲いて楽しいトレーニングでした。  
12月はどんな発見があるのでしょうか？

天王山トレーニングは9月より月2回とし、曜日を月曜日に変更しています。不具合があれば修正しながらこの方法で実施して行きます。  
ご協力よろしくお願いたします。

### 日時・集合場所

2022年 12月12日 月曜日

★集合時間・場所は小倉神社トイレ前、午前9時

コース ①柳谷分岐までの往復

②天王山山頂往復（登り急坂可）

③CLと歩く能登恵美子 090-6960-1318

（小倉神社北西の急登・柳谷分岐・十方山・東の谷を下って  
その谷を天王山に向けて登る・シゲ池・小倉神社）

SLは当日の参加者をお願いします。

2022年 12月26日 月曜日

★集合時間・場所は桜の広場公園トイレ横、午前9時

コース ①天王山山頂往復

②サントリー広場までの往復

③CL歩く吉田京子 090-5977-5313

（桜の広場公園・サントリー広場・天王山山頂・十七烈士墓  
大山崎山荘分岐・桜の広場公園）

SLは当日の参加者をお願いします。

★①②11時迄には下山してください。

③についてはやや超過あり。（時間によりカットする場合もある）

★荷物の調整、歩く速さは各自にお任せします。

★持ち物 飲み物、行動食

★集合時に参加者名簿に名前とコースを記入する。

下山時に下山チェックを入れる。

★CLは、下山確認後小西さんに報告する。



西山HC・12月例会案内

<ジャンル：一般 ★★★★★>

教育部「初歩の岩山歩き」

## 小野アルプス

日にち 2022年12月13日(火)

集合 7:30 JR京都駅

6番ホーム 東側階段付近

◆「日本一低いアルプス」と言われる小野アルプスを歩きましょう。最高峰の惣山で198・9m。いずれも200mにみたない低山の連なりですが、悔ることなかれ。アップダウンを繰り返し8つの峰を越えて行かなければなりません。最初の紅山で岩場を楽しみます。見た目は恐ろしいが小学校低学年の子も登っています。日にちをまちがえ下山口の温泉は休館。残念！！  
◆誘い合わせて同じ駅からの乗降がまとまれば、青春18キップを使って安く行くこともできます。申し込み時にJRの乗降駅をお知らせください。まとまらない場合は各自でキップを手配してください。

◆申し込みは12月1日(木)午後7時から予定人数到達まで。募集は最大16人(下記事情)。CLの下記メール、携帯SMS等で申し込んでください。雨天の場合は12/16(金)に延期。不明時はCLまで問い合わせを。

※タクシーは乗務員不足で事前予約ができません。前日か当日予約により1～2台でピストン。配車不能の場合は徒歩で登山口まで(約40分)。

【アクセス・コース】 ※加古川駅で合流も可

JR京都駅7:35発→<新快速姫路行>→9:05加古川9:20→<加古川線西脇市行>→9:41小野町→<タクシーor徒歩>→女池・紅山登山口／～岩倉峠～紅山～惣山～アンテナ山～総山～アザメ峠～安場山～愛宕山～前山～日光峠～高山～白雲谷温泉ゆびか(休館)～JR市場駅／(16:15発予定)→加古川→京都着(18:00過ぎ)

【持ち物】

日帰り必携装備、地図・25000図「三木」(+「社」)

CL：馬場重明 (TEL 090-1025-1843)

※メール [sbaba4910@maia.eonet.ne.jp](mailto:sbaba4910@maia.eonet.ne.jp)

SL：福田設子

【解散後報告先：林ただしさん】

12月例会案内（超らく）

雨天中止

## 光明寺裏トレーニング

今年の秋は、穏やかな小春日和が続き、紅葉もきれいでした。12月もよいお天気に恵まれるよう願っています。これからの季節は、木イチゴやサンキライの赤い実が楽しみです。同じ道を歩いても、季節の移り変わりを発見したり、変化を見つけて楽しんでいます。ご一緒に歩きませんか。

日 時        12月 14日（水曜日）

              12月 28日（水曜日）

時 間        午前 9：00～11：00

集合場所    光明寺駐車場

コース        光明寺から梅林（野山）まで

持ち物        日帰り一般装備、水、コロナ対策グッズ

CL            春 豊子

(Tel 075-955-8503 または 070-6540-2365 )

\*天候が不安定で実施の判断に迷われたら、  
CLまで問い合わせをしてください。

SL            古塩 幸子

解散後報告先    五十棲節子さん

## ゆっくり西山⑧ 大枝山・大暑山・小塩山

交通費節約型？わがふるさとの山？西山の季節の変化を楽しみながら、ゆっくり、安全に歩きましょう。今回は、老の坂峠～大枝山～小塩山を縦走します。暑くないので、快適に歩けそうです。

日時 12月14日(水) 午前8時00分から

集合場所 阪急桂駅東口コンビニ前バス乗り場

8時集合

バス 8:04発 老の坂 8:27着

コース

老の坂バス停—首塚明神—大枝山—西山団地—南のグラウンド—大暑山568—小塩山642—天皇陵道—正法寺大原野神社 解散

歩行時間5時間前後

持ち物 日帰り一般装備・弁当

地図 西山連峰トレッキングマップなど

申し込み 12月1日から 締め切り12月10日

CL 山下美喜子 TEL 090-2100-4084

SL 北千恵子 080-8720-9453

夏原典子 090-9980-6950

解散後報告先 峯尾靖子さん

12月例会案内 一般

西山ハイキングクラブ

荒天中止

## 比良 途中から権現山～霊仙山

アクセスのバス便が少なく一般道と言え荒れていることでしょう。積雪期を想定しての下見を兼ねていきます。日没が早いので短めのコースです。

日時： 2022年12月14日(水)

集合時間： 7時15分 (湖西線3番線・7時23分発に乗車)

集合場所： JR京都駅 湖西線前方車両付近

コース：JR京都駅7：23＝JR堅田＝(タクシー)＝途中～ズコノバンと霊仙山の間分岐点～権現山996m～折り返して～ズコノバン～霊仙山～霊仙山登山口～栗原～JR和邇 栗原からのバスは調べます。

持ち物：一般装備 エリアマップ(比良山系)

2万5千円(カシ米尔3D)、コロナグッズ

申し込み 前日までにCL,SLまで。荒天など中止の場合連絡します。

CL： 林 ただし 090-6986-4392

SL： 井上 美智子 090-6232-3224

解散後報告先：岡庭美恵子さん

はじめてのインドアクライミング No.107

## やまびこ くらぶ

月1回、京都の北、原谷でクライミングを楽しんでいます。壁は4面あり、簡単なルートからむずかしいルートまでいろいろあります。2階の広いスペースが貸切で使え、3時間のんびり登れます。メンバーがサポートしますので初めての方もぜひ一緒に登りましょう。

日時： 12月14日(水) 14時から17時

集合 原谷「やまびこくらぶ」2階  
(阪急西院駅より市バス205系統に乗車、わら天神前下車  
13時59分発 M1系統「原谷」行乗換、原谷農協前下車  
徒歩3分(1日乗車券は700円でイコカより少しお得です。)

参加費 会場費4,800円を参加者で割ります。  
参加者 会員(労山会員も)に限ります。  
参加を希望される方は2日前までにC.Lにご連絡下さい。

持ち物 ・クライミングシューズ、ハーネス(各500円でレンタル可)  
安全環付カラビナ、(あればチョーク)、飲物  
・ビレイヤー(確保者)は確保器、安全環付カラビナ、手袋  
・マスク着用、手洗い、手指の消毒、換気

C L 猪倉美佐子 (Tel 090-5361-3888)

S L 横山 共栄

解散後報告先 小原清志さん



12月例会案内（らくらく）

雨天中止

## どこ行こ！天王山

12月は何かと慌ただしく感じます。寒さも増してきます。  
冬支度の天王山を歩きませんか？木々はどんな姿を見せてくれるでしょう  
か？

『天王山馴染みがないな！』と思われる方ぜひご参加ください。  
お弁当持参でゆっくり歩きます。  
何か楽しみが待っているでしょうか？期待して・・・。

日時 2022年12月16日（金）

集合場所 阪急大山崎駅 9時30分

コース 阪急大山崎駅～椎尾神社～中の谷～展望台～  
天王山頂上～酒解神社～桜公園広場～  
阪急大山崎駅 （4時間くらい）

持ち物 日帰り必携装備 弁当 飲み物 防寒対策

申し込み 12月3日（土）8時～CLまでお願いします。  
（ライン SMS）

CL 日野加代子 Tel 080-4233-0755

SL 吉田京子 Tel 090-5977-5313

解散後報告先 五十棲節子さん

12月例会案内（ビスタリー）

雨天順延

## 尺代から大沢の大杉

尺代から P.382 に取付き、P.444～電波塔のある P.478 の向谷山へ行き、早尾神社南にある大沢の大杉（樹齢 800 年）に久し振りに逢いに行きます。P.382 の尾根に登山道はありませんが、巡視路をたどってみたいと思います。ビスタリーですが、一般寄りです。

日時： 12月17日（土）雨天時は12月18日（日）

集合 島本町 若山台センターバス停 8時30分  
（又は若山神社トイレ前 8時45分、要連絡）  
\*阪急水無瀬駅・阪急バス 8時20分発に乗車して下さい。  
\*JR 島本駅・ 〃 8時24分発に乗車して下さい。

コース 若山神社—尺代—P.382—P.444—P.478 向谷山—大杉—ギ  
ロバチ峠—長谷林道—尺代—若山台バス停又は JR 島本駅  
（歩行時間 5 時間程度）  
若山台発バス 15時10分、40分、16時5分、25分

持ち物 日帰り必携装備、マスク、除菌グッズ

申込み 12月12日（月）から14日（水）までにお申込みください。

C L 猪倉美佐子 (Tel 090-5361-3888)

S L 猪倉 清

解散後報告先 峯尾靖子さん





<中級教室第8回>

## ポンポン山

日にち 2022年12月18日(日) 8:25

集合 JR向日町駅前・阪急バス乗り場

※9:35発「善峯寺行」に乗車

※阪急東向日駅前8:42発や他のバス停から乗車もOK

◇中級教室第8回は、11月の座学にもとづく実技です。講義①の「リーダーの役割と仕事」にもとづき、全員が、実際にリーダー・サブリーダーを短時間、体験します。11月の座学に参加できなかった方で参加を希望される方はCLにご相談ください。

◇山行時雨天の場合は中止。不明時はCLまで問い合わせを。

◇申し込みは能登恵美子さん (gw3j22@yahoo.co.jp) まで。

### 【アクセス・コース】

善峯寺バス停～お墓～善峯寺展望所～西山古道～白糸の滝～大沢峠～大展望台～釈迦岳～ポンポン山～杉谷への下山口・鉄塔～杉谷～往生院～三鈷寺～早尾神社～八幡前バス停(時間によっては+10分の灰方バス停)

【持ち物】 ※不織布マスク・アルコールジェル等感染防止グッズも必携  
日帰り必携装備、地図(25000図「京都西南部」or「山と高原地図」)

CL: 馬場重明 (090-1025-1843)

※メール [sbaba4910@maia.eonet.ne.jp](mailto:sbaba4910@maia.eonet.ne.jp)

SL: 安達正明・中村好夫・福田設子

スタッフ: 教育部員有志

【解散後報告先: 林ただしさん】

教育部

## ペース登山 【愛宕山 第2回目】

※参加は会員のみです

皆さん、いずれかの日程で参加して下さい

「過去の体力、過去のもの」いまの体力を知りましょう！！

新しい会員はペース登山を（必ず一度は）体験してください。

昨年は83分から162分の幅で平均111分でした。

遅れる・待たせるなどと気兼ねしないで参加しませんか

と言うことで今回から次のように参加者を募ります。

第2回目は山歩き経験から

120分前後（±20）で歩ける皆さんです

日	時	2022年12月21日（水）
集	合	阪急嵐山駅前バス停：8時10分集合 8：17発清滝行きバス乗車 現地集合：8時45分（金鈴橋渡った付近）
コ	ー	ス
ル	ー	ズ
リ	ー	ダ
	C L	：永柳辰夫 551-0353 eiryu@cream.plala.or.jp
	S L	：北千恵子 080-8720-9453

参加者の皆さんへお願い 事前に申込みをください（当日参加も可）

（1）降雨による実施判断は当日7時前までに問合せください。

雨具、防寒具は常時携帯すること。\*天候により軽アイゼン

（2）山頂で待機の時、汗で身体の冷え防止に着替え忘れないように。

（3）休憩など調子を整えて“自分のペース”で登ってください。

（4）登頂時間は、各自の時計で報告してください。

3合目・5合目・水尾別れ 各東屋の通過タイムも控えてください

連絡事項

・今後3/7、3/25を予定しています。

・自主的に実施した会員は、永柳まで連絡ください。

【解散後報告先 林ただしさん】



<初歩から学び楽しむ>

## 目俵・インドアクライミング<sup>③⑤</sup>

日時 2022年12月24日(土) 9:00~12:00

会場 吹田市目俵市民体育館 ※はじめての方は案内します

(大阪府吹田市目俵町1-11 ☎06-6383-3017)

※JR吹田駅から徒歩約15分、阪急相川駅から徒歩約20分

◆吹田市・目俵市民体育館のクライミングウォールは、約8mありますが、トップロープ方式で、常に上からのロープと身体を結んで確保しながら登るので、中高年者にはボルダリングなどより安全です。易しいルートもたくさんあるので、高齢者から子どもさんまで楽しんでいます。感染防止対策をとりながら、初歩からインドアクライミングを学び楽しみましょう。

◆申し込みは2週間前の12月10日(土)午後7時から10人程度。初心者大歓迎。CLの下記メール・携帯SMS等で申し込んでください。

【参加費】 600円(吹田市民以外の体育館利用料金)

【参加者】 西山HC会員および労山会員。貸し切りではありませんので一般市民の方などもいっしょになる場合があります。

※安全なビレイ(確保)は体重差20kgまでです。現状では体重80kgを超える方は参加できません。

【持ち物】 ハーネス、安全環付カラビナ(大) ※これらは無料貸出し有クライミングシューズ(初めての方は室内用運動靴でも可)飲み物(飲食禁止ですがペットボトル等蓋つきはOK)不織布マスク・アルコールジェル等感染防止グッズ必携  
※ビレイのできる方(クライミングウォール使用登録証保持者)は確保器、手袋、チョークなども持参してください。

CL 馬場重明(090-1025-1843)

※メール [sbaba4910@maia.eonet.ne.jp](mailto:sbaba4910@maia.eonet.ne.jp)

SL 上出克代

[解散後報告先:小原清志さん]

## 12月例会案内（一般）

雨天中止

# 天 王 山

今年もあと1週間、何かと気ぜわしい毎日ですが、近場の天王山で登りおさめです。

「たかが天王山されど天王山」天王山の5つのピークを踏みます。

- ① 天王山 P.270
- ② サントリー山 P.240
- ③ 小倉山 P.305
- ④ 十方山 P.304
- ⑤ P.254

日時： 12月25日（日）

集合 山崎聖天下 桜の広場 8時30分

コース 桜の広場—酒解神社—天王山—サントリー山—小倉山—十方山—水無瀬の滝—（登り返す）P.254—椎尾神社—（解散）—桜の広場—JR 山崎駅—阪急大山崎駅  
（歩行時間 5時間）

持ち物 日帰り必携装備、マスク、除菌グッズ

申込み 12月18日（日）から20日（火）までにお申込みください。

C L 猪倉美佐子 (Tel 090-5361-3888)

S L 猪倉 清

解散後報告先 岡庭美恵子さん



2月例会案内(ビスターリ)

グルメ山行⑧ 特別編

## 「高野山散歩・厳冬の聖地を歩く」

真言密教の聖地 高野山を厳冬期に歩く企画です。氷点下の雪の高野山を存分に歩いてみましょう。宿坊泊りで、雪景色を愛でながら精進料理を堪能したいとおもいます。

- 日 時： 2023年2月9日(木)、10日(金) 1泊2日 荒天中止  
中止の場合は前日の夕方までに西山メールで連絡します。
- 集 合： 阪急長岡天神駅 ホーム 前から3両目付近 7時  
途中から乗車予定の方は、申込時に連絡ください。
- 交 通： 長岡天神 7:15→(天下茶屋行き準急)→8:15 天下茶屋(南海  
電車に乗換) 天下茶屋 8:24→9:11 橋本 9:16→9:56 極楽橋  
10:01→(高野山ケーブル)→10:06 高野山→(バス)→宿坊
- 行 程：  
2月9日(木)：宿坊到着後不要な荷物を預け、山内の食事処で昼食後、高野山女人道コースを歩く。  
不動坂口女人堂～相の浦女人堂～大滝口女人堂～  
大峰口女人堂～奥の院前 (歩行約3時間)  
2月10日(金)：奥の院バス停～摩尼山～三山入口～奥の院バス停  
(歩行約2時間)～宿坊で荷物を受け取り食事処へ  
⑨：両日とも天候、積雪状況により行程を変更することがあります。  
高野山ケーブル上駅で解散とします。
- 持 物：日帰り一般装備、着替え、コロナ対策グッズ、防寒具、非常食  
軽アイゼン、輪か付ダブルストック、スパッツ、サングラス  
(装備については、前日の夕方までに連絡いたします。)
- 宿泊先：宿坊 恵光院 公的支援により変更するかもしれません。
- 費 用：約15000円程度(交通費、宿泊費等)
- 申 込： 11月28日 午後7時よりパソコンメールで CL まで  
CL、SLを含め、10名程度とします。参加者には計画書配布  
ken-beard@iris.eonet.ne.jp
- CL：林 謙佐郎 090-1488-9299 SL：草場克彦 090-8484-5114  
留守本部 馬場重明さん

ジャンル 一般	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	比良 鷲川から見張山尾根		
日時	2022年10月21日(金)	天気	晴れ
リーダー	林 ただし	サブリーダー	福田設子
<p>&lt;参加者&gt; 5名 足立光子 大田喜代恵 林ただし 深田雅子 福田設子</p>			
<p>&lt;コースタイム&gt; 京都駅 7:24 発—北小松 8:15—スタート 8:30—林道鷲川村井線 JR 高架下 9:10—登山口(登り口) 10:05—P452(山頂) 11:05—沖島展望岩 11:17—登 山道にて昼食(11:30~12:00)—見張山尾根に合流 12:15—鳥越峰出合 13:20—鳥越 13:55—岳山 14:15—白坂 15:02—大炊神社—近江高島駅 16:05</p>			
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 国道161号線を進み鷲川を越えて、JR 高架下で1回目の休憩。 車の騒音から離れて、田んぼが広がりセイタカアワダチソウが繁茂する 風景に心が休まります。</li> <li>☆ 林道鷲川村井線は延長 19777m、朽木村井まで続く。この道を登山口 (登り口)まで黙々と歩いて約1時間、長いです。</li> <li>☆ 登り口を探しながら進むも見当たらず、地図と現在地と照らし合わせて 確定すれば、急斜面の立ち木に色の褪せたテープが見えました。</li> <li>☆ 先を透かして見れば踏み跡のようにも見えるし、獣道にも見える道なき 道を倒木を越え、サルトリイバラの強靱な棘に阻まれてP452に到達でき た時は、達成感+感動でした。</li> <li>☆ 見張山尾根に合流して、鳥越峰出合で13:20分、下山の時間を計算し てオウム岩・岳山コースに決定しました。</li> <li>☆ シダに覆われて足元の段差が分かりにくい悪路を慎重に下山しました。</li> <li>☆ 踏み跡も定かでない道なき道を微塵の不安もなく歩けるのは、頼りがい のあるリーダーのお陰と感謝いたします。ありがとうございました。</li> <li>☆ ヒヤリハットはありません。</li> </ul> <p style="text-align: right;">記入者 福田設子</p>			

ジャンル ビスタリー	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	金剛山(寺谷～文殊尾根)		
日時	2022年10月22日(土)	天気	晴
リーダー	猪倉美佐子	サブリーダー	猪倉 清
<p>&lt;参加者&gt; 20名 猪倉清、猪倉美佐子、池澤晶子、五十棲節子 太田純江、大西育子、鹿島和子、北千恵子、岸本貴美男、 木下敦子、北村初恵、草場克彦、瀬古京子、田中佳代子、 林謙佐郎、深田雅子、安井昇太、安井芳夫、山下美喜子、吉田京子</p>			
<p>&lt;コースタイム&gt; 阪急淡路発 8:19—8:43 天下茶屋 8:53—河内長野 9:20—南海バス発 9:30—金剛山ロープウェイ前着 10:07—百ヶ辻発 10:20—寺谷登り口 10:40—(休憩 10分)—岩屋文殊 11:55—12:20 山頂広場(昼食) 12:55— 転法輪寺 13:05—葛木神社 13:20—文殊尾根 13:30—(休憩 7分)— 文殊中尾根分岐 14:15—林道 14:40—バス停着 14:55—バス発 15:15 —15:56 河内長野 16:07—天下茶屋着 16:07—解散</p>			
<p>&lt;リーダー報告&gt; ヒヤリ・ハットはありません。 * 金剛山は雪の時、5月のニリンソウの時に訪れたがこの時期に歩いた 記憶がない。花の少ない時期だが、シラネセンキュウ、アキチョウジ、 サラシナショウマ、ヨシノアザミなどが見られた。 * 金剛山の登山道は階段が多いというイメージがあったが寺谷は歩き やすい気持ちの良い谷筋で下りの文殊尾根もブナがまじった自然林 で色づき始めた黄葉がきれいだった。 * 金剛山の頂上は展望広場ではなく、葛木神社の裏山にあるが神域 で、入山禁止。一周する裏参道は人も少なく気持ちの良い自然林。 * 登山者は危惧したほど多くなく、谷筋でのすれ違いも問題なかった。 * 20人での移動だったが切符購入、集金や班の前後を歩き、気を配っ ていただき太田さん、鹿島さん、北さん、吉田さん達に助けられて、 C.Lは写真を撮りながら初秋の金剛山をゆっくり楽しみました。</p>			
記入者:猪倉 美佐子			

<ジャンル> 一般	 <b>山行報告</b>			西山H C
行き先	いろんな道から <b>ポンポン山⑰</b>			
日時	2022年10月22日(土)	天気	曇りのち晴	
C L	馬場重明	S L	島田江里子、永本芳江	
≪参加者≫ 7人 ……島田江里子、田村太二、永田芳江、 永本芳江、馬場重明、藤本真弓、山本恵俊 ※敬称略				
≪アクセス・コースタイム≫ 阪急東向日駅前 8:42→<阪急バス>→9:08 善峯寺バス停 (ストレッチ) 9:20 発 ～(お墓経由)～9:35 善峯寺展望所 (休憩 5分)～10:05 (休憩 5分)～10:25 尾根の縦走路合流点～10:37 釈迦岳 (休憩 8分)～11:20 ポンポン山 (昼食) 11:50 発～12:20 釈迦岳 (休憩 10分)～12:50 大展望台 (休憩 10分)～13:22 大 沢峠 (休憩 8分)～13:42 海印寺奥山～13:57 長4分岐～14:16 (登り返し) 14:34 再出発～15:00 マサミガーデン～15:10 西山キャンプ場 (休憩 8分)～15:38 立 石橋～15:45 西代里山公園 (解散)～15:56 海印寺バス停→各地へ				
≪リーダー報告≫ ◆今回は善峯寺バス停からお墓を抜け、ポピュラールートをとどってポンポン山をめざし、下山に海印寺奥山からマイナーなルートで西山キャンプ場へ抜ける計画。前半は島田 SL、後半は永本 SL の先導で歩いた。 ◆足が揃い、ポンポン山頂上で早い昼食を摂った。大展望台でゆっくりと景色を堪能し、大沢峠まで下って、海印寺奥山をめざす。海印寺奥山入口の「長3」標識周辺はいつそう荒れたように感じる。直登コースの急登をがんばって登った。「海印寺奥山」の標識は風雨にさらされ読みにくくなっていた。「長4」分岐から、P275 を通らず東へ向かうマイナーなコースを下山したが、途中で道を見失い、違う尾根に迷い込んだと勘違いして登りなおすハプニング。しかし、地図などで確認すると間違っていない。道を見失った地点では左に入るところを直進したことが原因とわかった。よく踏み跡やテープを確認しながら歩けば問題ない。20分ほど余計なアルバイトをしてしまった。 ◆西山キャンプ場から、このシリーズでは初めて歩く林道をたどって立石橋に抜けた。西代里山公園で解散し、電車組は海印寺のバス停に向かった。時間ギリギリに着いたと思ったら、バス停の手前で発車するバスを見てがっかり。しかしすぐに、反対側のバス停に、西山天王山駅回りで長岡天神駅まで行くバスが到着し乗ることができた。このバスは5分ほど遅れてきたようだ。ヒヤリハットなし。 <報告：馬場重明>				

ジャンル 一般	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	Viva around 唐櫃越 ⑥		
日時	'22年10月23日(日)	天気	晴れ
リーダー	小西弥生	サブリーダー	村田君代
<p>&lt;参加者&gt; 13 名  旭 眞 和泉奈緒美 鹿島和子 片山富子 公森満子  小西弥生 谷口信子 夏原典子 林 導 堀本信行  村田君代 山崎富美江 依田敏夫</p>			
<p>&lt;コースタイム&gt;  阪急嵐山駅8:30~8:37→京都一周トレイル26 8:45→四つ辻9:20  ~9:25→松尾山(p275. 6)9:33→稜線(7号橋下山の分岐)9:53→  松尾谷林道7号橋10:45→油の谷(昼休憩)10:55~11:35→6号橋  (水晶谷)11:45→展望テラス12:35~12:40→唐櫃越え出合13:05  →丁塚13:50~13:40→阪急上桂駅14:10解散</p>			
<p>&lt;リーダー報告&gt;  ★唐櫃越シリーズ第6回を実施  ★今回松尾谷林道へ下山と展望テラスへの登りが急な為、前日の天候次第でルート変更も視野に入れていましたが、好天続きで当初のルートで実施出来ました。  ★7号橋へ下山はかなり急でしたが、皆さん慎重に下山してくださいました。  ★展望テラスの眺望が素晴らしく、急登の疲れも吹っ飛び、少しの休憩でしっかりリラックス出来ました。(〜*〜)  ★参加者の皆さんの足並みが揃っていて、予定の時間より早めに下山出来ました。皆さんお疲れ様でした(〜*〜);;  ★ヒヤリハットなし</p> <p style="text-align: right;">記入者:小西弥生</p>			

ジャンル ビスターリ	山 行 報 告 西山ハイキングクラブ		
行き先	N02 測定カプセル設置 花の寺～小塩山～大暑山		
日 時	2022. 10. 24	天気	晴
リーダー	則座美智子	サブリーダー	横山 共栄
<p>&lt;参加者&gt; 上脇和子 五島ちまり 北川真理 則座美智子 福田設子 横山共栄 (一般参加) 林田正志 以上7名</p>			
<p>&lt;コースタイム&gt; 南春日町バス停集合8:50～ 西迎寺駐車場体操～ 花の寺駐車場カプセル設置9:30～ 大原野多機能トイレ立寄り9:50～ 小塩山 NTT 施設通路入口カプセル設置11:55～12:05 小塩山山頂昼食12:45～大暑山鉄塔カプセル設置13:30～南春日町バス停解散15:20</p>			
<p>&lt;リーダー報告&gt; (皆に知ってもらいたい事・改善点・ヒヤリハット・感想等)</p> <p>○ 参加者皆さんの協力で、爽やかな初秋の一日、植物観察などしながら、カプセルを三ヶ所に設置し、二座の山頂を踏み、全行程をほぼ予定通りに楽しく歩くことが出来た。</p> <p>○ 小塩山、大暑山では近年オフロードバイクを見かけることが有り、登山道にもタイヤの跡が道を荒らしたところを何箇所か見た。 天皇陵道は、私が西山ハイキングクラブに入った当初から、えぐれて歩きにくく、先輩から、オーバーユースに因るものと教えてもらった記憶があるが、今回登りに使った林道を突っ切り NTT 鉄塔に登る広葉樹林の尾根道が、今年の春カタクリの頃に登った時より歩きにくくなったように感じたのは気のせいかな。</p> <p>○ 自然の中で、いろいろな人がいろいろな楽しみ方を出来ることが望まれるが、お互い山を荒らさないことを心がけたい。</p> <p>○ ヒヤリハットはなし。ゆっくり歩くのでどなたでもどうぞご参加下さいと言う意味でビスターリとしたが、コース的には一般ではとの意見をもらった、二年後はどうしたものか。</p> <p style="text-align: right;">(記入者：則座 美智子)</p>			

ジャンル ビスターリ	山 行 報 告			西山ハイキングクラブ
行き先	2022年度 NO2測定カプセル回収 花の寺～小塩山～大暑山			
日 時	2022年10月25日(火)	天 気	晴れ	
リーダー	福田設子	サブリーダー	山下美喜子	
<p>&lt;参加者&gt; 会員 8 名  安達正明 岩崎京子 大西育子 北千恵子 木下敦子 深田雅子  福田設子 山下美喜子</p>				
<p>&lt;コースタイム&gt;  南春日町バス停 8:50—西迎寺横の広場(挨拶・体操)9:05—花の寺回収  9:30—大原野神社駐車場 9:45—小塩山直登道—NTT 回収 11:35—  小塩山山頂 11:45(昼食)12:10—大暑山回収 13:00—西山団地分岐  13:30—登り口 14:20—バス乗車 15:03</p>				
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <p>☆ (NO2) = 二酸化窒素、何のために測定するのかな？と調べてみました。NO2は環境汚染の大きな要因となっている化合物。血液中のヘモグロビンと結合し、血液の酸素運搬能力を低下させる。粘膜刺激性を持ち、呼吸気道及び肺に対して毒性を示す。NO2は冬に濃度が高くなる傾向、濃度が高い時に人の呼吸器(喉 気管 肺)に悪い影響を与える。国では環境基準を設けて排出量を少なくする努力をしている。窒素酸化物は光化学スモッグ、酸性雨の原因にもなりやすい。</p> <p>☆ 花の寺の看板の裏に、昨日則座さんたちの取り付けしてくれたカプセルが無事にありました。参加の皆さんも取り付け方法や注意点を学び次の機会には自分もできるようにしたいと前向きでした。</p> <p>☆ 小塩山山頂で昼食タイムをしたのですが、日が陰ると寒くてのんびりできなくて、冬に近づきつつある事を実感しました。</p> <p>☆ 3箇所回収を終えて、翌日連盟の担当の方に発送しました。</p> <p>☆ ヒヤリハットはありません。 記入者:福田設子</p>				

ジャンル 超らく	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	光明寺裏トレーニング		
日時	2022年10月26日(水) 2022年11月9日(水)	天気	晴れ
リーダー	春豊子	サブリーダー	古塩幸子
<p>&lt;参加者&gt; 会員 8名 一般参加 1名</p> <p>10月26日 安達千代子 北千恵子 久貝浩子 古塩幸子 中井みどり 春豊子 森川康子</p> <p>11月9日 安達千代子 植村節子 北千恵子 久貝浩子 古塩幸子 中井みどり 春豊子 前川紀代子(一般参加)</p>			
<p>&lt;コースタイム&gt;</p> <p>10月26日 光明寺駐車場 9:00(挨拶 名前記入)～放生池～遊友の丘 光明寺境内モミジの道～光明寺駐車場解散 11:00</p> <p>11月9日 光明寺駐車場 9:00(挨拶 名前記入)光明寺境内～放生池 遊友の丘～放生池～光明寺モミジの道～光明寺駐車場 解散 11:00</p>			
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <p>10月26日 遊友の丘までは、谷川に沿った小道を通ったが、丸木橋が補強されていたり、急な坂は階段になっていたりして歩きやすい道になっていた。常に道を整備して下さる方々がおられるようだ。 紅葉がどうか気になって、光明寺境内を見て回った。次回期待できそうだ</p> <p>11月9日 一般参加者と初めての参加者を迎えてお天気も良くウキウキと出発した。どれくらい紅葉しているか気になるので先ずは、境内に入っすぐの階段を登った。遊友の丘までは色づき始め、木いちごの実やいまだに花をつけているモチツツジを見たりしながら賑やかに歩いた。光明寺の紅葉は少し早いけど、とても綺麗で満足した。</p> <p>10月26日、11月9日ともヒヤリハット無し。</p> <p style="text-align: right;">記入者:春豊子</p>			

ジャンル 一般	山行報告			西山ハイキングクラブ
行き先	比良 ヤケオ山			
日時	2022年10月26日(水)	天気	快晴	
リーダー	林 ただし	サブリーダー	井上美智子	
<p>&lt;参加者&gt; 6名 猪倉美佐子 猪倉 清 井上美智子 永田芳江 林ただし 松野周治</p>				
<p>&lt;コースタイム&gt; JR 京都駅7:23発→8:15着 JR 北小松駅 体操 8:25発～滝川西側の尾根(馬ヶ瀬国有林)～P761 12:20着 昼食12:50発～ヤケオ山970m～タンヤマノ頭～ヤケ山700m～涼峠～楊梅の滝～JR 北小松駅15:40 解散 16:40発→京都駅</p>				
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <p>○前半ヤケオ山までは道なき道で、後半はハイキング道を下った。この日は気持ちの良い快晴で、真っ青な琵琶湖・伊吹山をはじめ対岸の山々が美しく見え心の洗われるような山行になった。こんな良い日なのに誰にも出会わず、まるっきり西山 HC の貸し切り状態だった。</p> <p>○前半道なき道というものの結構しっかりした踏み跡があり、(ないところも多少あったが)コンパス・スマホで時々確かめながら稜線をたどっていった。下見なしであっちだこっちだと言いつつ合うのも楽しい。しかも大先輩が4人もおられ、所々の確なアドバイスをしてくださるので安心。つついマイペースになり、時々「待って」と声をかけられる足どりになってしまった。スピードが速かったらしい。</p> <p>○P761からヤケオ山の間には崩落地がある。JR の中からも見えるほどなので、落ちないように気をつけつつ、見に行った。その辺りはまた背をこし姿が見えなくなるくらいのススキヶ原になっていた。</p> <p>○ヤケオ山は展望が良い。比良山系の中でも景色がよく見えるビューポイントではないだろうか。しかもこの日は雲一つない快晴で、美しい景色を堪能した。</p> <p>○ヤケオ山から下り 10 分くらいのところにタンヤマノ頭があるそうだが、見落としてしまった。どんなところだったのだろうか？なんでタンヤマノ頭なる名前がついているのだろうか？</p> <p>○ヤケ山は展望のないところだった。</p> <p>○涼峠・楊梅の滝は冬とはまた違うたたままい。お椀の水が楊梅の滝となり琵琶湖に注いでいるという話を聞く。なんと壮大な！</p> <p>○ヒアリハットなし。</p> <p style="text-align: right;">記入者:井上美智子&amp;林ただし</p>				

ジャンル 一般	山行報告			西山ハイキングクラブ
行き先	雁ヶ腹摺山			
日時	2022年10月26日(水)-27日(木)	天気	晴れ	
リーダー	依田敏夫	サブリーダー	村田君代	
<p>&lt;参加者&gt; 池澤晶子 和泉奈緒美 鹿島和子 片山富子  小西弥生 島田江里子 谷口信子 林導 深田雅子  永本芳江 村田君代 依田敏夫 (以上12名)</p>				
<p>&lt;コースタイム&gt;</p> <p><b>10月26日(水) 7:33</b> の新幹線に乗車し、中央線の<b>大月</b>駅着 <b>11:28</b>  大月駅前からバスで登山口まで移動 (バス停は自動車教習所前)  <b>歩行</b>: 畑倉登山口 <b>12:15</b> → 岩殿山 (岩殿城跡) <b>13:10</b> → 稚児落とし分岐 <b>13:35</b> (ここから往路を引き返す) → 畑倉登山口 <b>14:45</b>  バスで大月駅前まで移動し、ホテル東横INN富士山大月駅着 <b>16:15</b></p> <p><b>10月27日(木) 7:15</b> タクシーで大峠まで移動。大峠着 <b>7:55</b>  <b>歩行</b>: 大峠 <b>8:05</b> → <b>9:20</b> 雁ヶ腹摺山 <b>9:40</b> → 姥子山東峰 <b>11:00</b> → <b>11:30</b> 登山道入口 (昼食) <b>12:00</b> → 百間干場 <b>13:35</b> → 金山峠 <b>13:55</b>  → 金山鉱泉・山口館跡 <b>15:30</b> → 森屋荘付近 <b>15:55</b>  タクシーで大月駅まで移動し、JRで京都に戻る。京都着 <b>20:54</b></p>				
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は大月市の秀麗富嶽12景になっている山の3座を歩きました。</li> <li>・岩殿山は畑倉登山口からゆっくり歩いて1時間程度で登れるうえに、山頂付近の展望台からは富士山の絶景が楽しめます。</li> <li>・雁ヶ腹摺山は大峠まで車が入るので、ここから山頂までをピストンする人が多い。山頂からは富士山とその周辺を合わせた構図が素晴らしい。</li> <li>・姥子山の西峰は注意していないと通り過ぎてしまいます。姥子山の東峰からは360度の展望が開けます。</li> <li>・百間干場へ向かう林道へ下りる直前のルートがわかりにくいのと急な下りで滑りやすいので注意が必要です。</li> <li>・このあたりの山は駅周辺のビジネスホテルに宿泊してタクシーを利用すれば快適な登山が楽しめるので、また歩いてみたい気がしました。</li> <li>・ヒヤリハットはなし。</li> </ul> <p style="text-align: right;">記入者:依田敏夫</p>				

ジャンル ビスターリ	山行報告			西山ハイキングクラブ
行き先	四国・剣山と祖谷峽			
日時	2022年10月27日(木) ～28日(金)	天気	27日晴れのち曇り 28日晴れ	
リーダー	鈴木洋一	サブリーダー	山下美喜子	
<p>&lt;参加者&gt; 会員19名  五十棲節子 上脇和子 加藤ゆり 岸本喜美男 木下敦子  北千恵子 小林富子 鈴木純子 田口博子 田村佐多子  中村あさ子 安井昇太 山口幾世 山口貴生 山口礼子  山下美喜子 山下光子 和田喜美子 鈴木洋一</p>				
<p>&lt;コース&gt;  27日 JR 長岡京東口7:30→宝塚北 SA9:15→板野 PA10:55昼食  板野 PA11:25→剣山見ノ越駐車場13:30→リフト→山頂14:50→  見ノ越駐車場16:45→民宿お山荘17:45着</p>				
<p>28日 民宿お山荘8:30→祖谷川祖谷溪谷散策・琵琶の滝・かずら橋  民宿お山荘 10:00→平家屋敷10:45→道の駅大歩危11:45→  吉野川 SA12:05昼食13:00→宝塚北 SA15:20→JR 長岡京東  口16:10着→解散</p>				
<p>&lt;リーダー報告&gt;  27日  1・2週間前は27日28日両日雨の予報だったが、直近から晴れの予報に代わり秋晴れの中の山行になった。  2・気圧配置が西高東低の冬型に変わり冬支度装備で手袋、毛糸の帽子と防寒で上ることを支持  3・JR 長岡京東口7:30定刻に出発  4・山陽道で2件故障車と事故があり到着が1時間遅れた  5・コースタイム40分の登山道を90分かけて登頂  6・山頂は気温4度でガスがかかる状態なので早々に下山  7・リフト運行時間の最終16時半に間に合わすため数人が他人のザックを持って下山。自主的補助応援  8・山頂リフト下山口に最終の16時半ちょうどに到着  9・民宿夕食は“アマゴ定食”で秘境の宿らしい食事だった</p>				

28日

10・7時朝食・8時30分荷物を宿に預けて秘境の里を徒歩で巡る

11・祖谷のかずら橋を渡れない人が出るのではと心配したが全員が渡り  
きることができ宿に戻る

12・民宿10時バスで出発

13・15分ほどで平家屋敷資料館、800年続く古人の知恵と創意工夫を  
学ぶ

14・道の駅大歩危で買い物休憩

15・井川池田 IC から高速に乗り、吉野川 SA で昼食12時着 13時発

\* 昼時でもあり想像を絶する混雑ぶりで注文した品が来なく遅れる  
ことになった。昼食所要時間時間30分に設定したため、ジャンクフ  
ード等で軽く済ませた人をレストランに入った人が30分待たすこと  
に出発が30分遅れた。リーダーの状況判断ミス

16・本州淡路高速道、山陽、名神は渋滞もなく宝塚北 SA でトイレ休憩  
に入っただけでスムーズに走れた

17・JR 長岡京東口にはほぼ予定通りの16時10分に到着 解散

\* 平均年齢75歳の団体が標高差200mtだけとは言え何事もなく歩きと  
おせ、無事帰宅できたのは2000mの日本百名山に上るとい目標  
を持ち日々の研鑽努力の結果と歩行に不安のある人をカバーしよ  
うという気づかいのおかげでした

参加者の皆さんに感謝します

ヒヤリハットなし

記入者 鈴木洋一

<会計報告>

員数19名 一人当たり換算

内訳明細

会費 3万円内返金6千円

バス代 9380円 登山リフト代往復1900円

宿代 9810円ビール代含

かずら橋通行料 526円(団体割引)

平家屋敷入館料 450円(団体割引)

高速料金 ≒1300円

他ドライバー宿泊代。食事代 590円

<ジャンル> 一般	 <b>山行報告</b>		西山H C
行き先	<b>矢田丘陵／矢田山・松尾山</b>		
日 時	2022年10月27日(木)	天 気	曇り～晴
C L	馬場重明	S L	木下裕子
≪参加者≫ 10人 ※敬称略 旭 眞、木下裕子、五島ちまり、田中佳代子、西尾久枝、馬場重明、 福田設子、前原利生、安井芳男、山本恵俊			
≪アクセス・コースタイム≫ 近鉄京都駅(集合8:20)8:25→<急行天理行>→9:14 近鉄郡山～駅前バス停1 番乗り場9:31→<奈良交通バス②系統>→9:50 矢田寺前9:55～10:05 矢田寺本 堂前(ストレッチ)10:13 発～10:46 東明寺本堂(休憩9分)10:55～11:13 緑が 丘休憩所(休憩7分)11:20～11:44 まほろば展望休憩所(343・3m矢田山最高地 点 昼食)12:15 発～12:20 矢田山頂上展望台(休憩8分)～13:00 国見台展望 台(休憩10分)～13:25 松尾山(二等三角点315・1m)～13:40 松尾寺(休憩15 分)～14:18 登山口・十一丁(休憩5分)～14:45 法隆寺東大門(解散)～14:53 法隆寺参道バス停14:53 発→<奈良交通バス>→15:03 J R法隆寺駅→各地へ			
≪リーダー報告≫ ◆近鉄郡山駅前のバスターミナルは駅からだいぶ離れており、しかも 路地を通り抜けた先なので、はじめてだと戸惑う。しかし商店街を通る ので買い物はできる。バスは小型で、我々10人で座席が満杯になった。 ◆矢田山、松尾山の2つの低山を抱える矢田丘陵は各所で大展望が楽し める。また、矢田寺、東明寺、松尾寺の古刹もあり、世界遺産・法隆寺に 下山するので違った景色を眺めることができる。矢田寺はアジサイで有 名なところ。人で溢れかえり拝観も有料になるのでその時期を外した。 ◆矢田寺から薄暗い怪しげな道をたどり、害獣除けゲートをいくつも通 って東明寺をめざす。寺の横の急な山道をしばらく登ると緑ヶ丘休憩所。 ここが矢田丘陵の北の端になるようで、ここから丘陵歩きとなる。1ピ ッチで、矢田山最高地点(343・3m)となるまほろば展望休憩所。少し奥 に「最高地点」の標識があった。昼食後、目の前に生駒山が広がる矢田 山山頂展望台や奈良の山々を一望する国見台展望台を訪ね、快適な尾根 歩きを楽しんだ。松尾山は二等三角点ながら、その標柱は電波塔の脇に ひっそりとある。下って松尾寺。「厄除けの梵鐘」を突いて「厄払い」し た人もあった。丁石道をたどりゴルフ場を抜け法隆寺に下山した。 ◆もうすっかり秋の気配で、暑くもなく寒くもない快適な山歩きを楽し んだ。紅葉を期待したが、多少色づき始めた程度だった。 ◆ヒヤリハットなし。			

<報告：馬場重明>

<ジャンル> 岩登り	 山行報告 西山HC		
行き先	初歩から学び楽しむ <b>目俵・インドクライミング③③</b>		
日 時	2022年10月29日(土)	天気	晴
C L	馬場重明	S L	旭 眞
<<参加者>> 9人 ※敬称略 旭 眞、猪倉美佐子、和泉奈緒美、木地弘恵、小原清志、馬場重明、 福田設子、峯尾靖子、横山共栄			
<<アクセス・コースタイム>> JR吹田駅・阪急相川駅～吹田市目俵市民体育館(9:00 集合)～各自ス トレッチ～9:20 開始～11:50 終了(解散)～JR吹田駅・阪急相川駅へ			
<<リーダー報告>> ◆福田さんがはじめてインドクライミングに挑戦されたので、初心にか えて、ストレッチの仕方、ハーネスのつけ方、ビレイヤーとクラ イマーの声かけ・安全確認、ハンギングポジションとロックポジシ ョンなど登り方の基本をいっしょに学んだ。最初にベテランのお二人に 模範のクライミングとビレイを実演してもらった。その後登ってもら ったが、2回も完登された。すごい!! やはり慣れないと足を踏ん 張らず手に頼ってしまうので、その後は手がパンプ(力が入らない状 態)し苦戦された。これはみんなが通る道です。がんばりましょう。 ◆10月から開講した吹田クライミングクラブの教室を受講している人 や新進気鋭のみなさんは、グレードに比して少し難しい右の壁の赤× (10a)に挑んでいた。何回かの挑戦で完登された方もいた。 ◆ヒヤリハットなし。 <報告:馬場重明>			

<ジャンル> 教育部	 <b>山行報告</b> <span style="float: right;">西山H.C</span>		
行き先	<中級教室第6回(実技・岩場歩きとロープワーク)> <b>堂山</b>		
日時	2022年10月30日(日)	天気	晴
リーダー	馬場重明	サブリーダー	安達正明
スタッフ	能登恵美子、深田雅子、福田設子		
<<参加者>> 20人……安達正明、和泉奈緒美、井上美智子、鹿島和子、木地弘恵、草場眞知子、久保まさ子、五島ちまり、小西弥生、谷口信子、田村佐多子、永本芳江、能登恵美子、馬場重明、深田雅子、福田設子、古田博光、松野周治、吉田京子、吉谷由美子 <span style="float: right;">※敬称略</span>			
<<アクセス・コースタイム>> JR石山駅(8:30集合) 8:40→<帝産バス>→9:00 アルプス登山口～9:10 富川口の天神川河原(ストレッチ・打ち合わせ) /9:30～11:30(ロープワーク実習) /11:30～12:00(昼食) /12:10 発～12:38 天神川4号堰堤(休憩7分)～13:23 堂山(384m 休憩12分)～14:15 天神川4号堰堤(休憩10分)～14:55 富川口(ロープワーク補習) 15:30 発～15:45 アルプス登山口バス停(解散) 15:55 発→<帝産バス>→16:15 JR石山駅 16:21 発→<快速>→各地へ			
<<リーダー報告>> ◆登山路崩壊など緊急事態の際、安全確保のため細引きを張って一人一人が自己ビレイ(確保)しながら通過する場合があります。特別な装備を持っていないことを想定して、通常山行で持っているものを使った、①自己ビレイの方法、②細引きを立ち木などにしっかりと張る方法を学んだ。 ◆①は三点支持登降実習でも学ぶ、簡易チェストハーネス、ダブルフィッシャーマンズノット、プルージックノットで、これはすべての会員が身につけてもらうもの。いつもここに時間がとられるので、参加者には事前に資料を送り練習してもらった。そのため短時間で済んだ。 ◆②はロープ結びの基本・王道と言われるエイトノット(8の字結び)とポーラインノット(もやい結び)。これで立ち木に結び付けてロープを張る方法を学んだ。いずれも立ち木への巻きつけと留め結びが大事なことをつかんだ。補習も含めて、ロープテークル・ハーネスノットでさらにピンと張る方法も学んだ。 ◆岩場歩き実習は、堂山頂上まで溪谷沿いの岩場を登降した。下山時、小学校低学年の元気な子どもたちがたくさん登ってきてエールを交換した。しかしすれ違いに時間がかかった。 ◆ヒヤリハットなし。 <span style="float: right;">&lt;報告:馬場重明&gt;</span>			

ジャンル レク部	山 行 報 告 西山ハイキングクラブ		
行き先	イングリッシュガーデン、ばら、びわ湖を眺めましょう		
日 時	2022年 10月31日(月)	天 気	晴
リーダー	和田喜美子	サブリーダー	山岳邦枝
<p>&lt;参加者&gt; 21名          安達千代子、伊佐恵美子、植村節子、北千恵子、木下敦子、桐村弘子、久貝浩子、小林富子、清水伊都子、田口博子、竹部瑩、中瀬多恵子、中村あさ子、福井京子、森叔子、八尾てる美、持永由紀子、山川千津子、山下美喜子、山岳邦枝、和田喜美子</p>			
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <p>☆ 快晴の歩きやすいお天気に恵まれた。</p> <p>☆ 久しぶりの参加の方もあり再会を喜ばれお話が盛り上がっていた。</p> <p>☆ 班分け後出発、歩道が狭く通行の方も多かったため気をつけて歩く。</p> <p>☆ 入園料が団体割引で 130 円になった。</p> <p>☆ びわ湖大津館 外観は和風、館内は洋風、1934 年に国際観光ホテルとして開業、湖国の迎賓館と呼ばれ多くの著名人が宿泊した。ホテルは移転するが保存を希望する市民の声もあり大津市が買い取った。2階のテラスからは雄大な琵琶湖が眺められた。ヨットやミンガンが行きかっていた。</p> <p>隣りのガーデンも眺められた。</p> <p>☆ びわ湖フレグランス 園内はハロウインの飾り付けがされ華やかな楽しい雰囲気溢れお子さん連れやツアーの方々に賑わっていました。お花、バラの咲き具合が心配されましたがオールドローズ、モダンローズも満開、香りも一杯、ハーブ類、コスモス、ジニア、10 月さくら、名前を書けない可愛い草花が一杯。</p> <p>皆さん、来年の春にぜひ訪れてください。チュウリップ、桜、バラ、つるバラなどの沢山の可愛いお花が出迎えてくれますよ。</p> <p>☆ 解散後、食事に行かれる方々と分かれて、湖畔を歩き、びわ湖を眺めながら軽食、Sさんの指導でストレッチ、膝関節痛の軽減、予防運動を行なって帰路についた。</p> <p>☆ ヒヤリハットなし</p> <p style="text-align: right;">記入者 和田喜美子</p>			

ジャンル らくらく	山 行 報 告			西山ハイキングクラブ
行き先	天王山トレーニング			
日 時	10月31日(月) 11月14日		天 気	晴れ
CL	吉田京子	SL	10月31日草場真知子 11月14日能登恵美子	
<p>&lt;参加者&gt;</p> <p>10月31日 草場真知子 則包公子 林謙佐郎 吉田京子 4名</p> <p>11月14日 鹿島和子 木下敦子 草場真知子 能登 恵美子 則包公子 林謙佐郎 横山共栄 吉田京子 8名</p>				
<p>&lt;コース&gt;</p> <p>10月31日 桜の広場～天王山頂上～サントリー広場往復</p> <p>11月14日 小倉神社～シゲ池～天王山頂上～サントリー広場～小倉神社</p>				
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 10月31日 薄ピンク色のコウヤボウキが咲き出していた。紅葉にはまだ早いようだった。</li> <li>○ 11月14日 今日はCL含む6人で一緒に歩いた。皆さん会話に、花が咲いて賑やかな山行になった。</li> <li>○ いろいろな鳥たちも賑やかに、鳴いていた。</li> <li>○ ナンキンハゼが朱色、ピンク、赤と、色とりどりに美しく紅葉していて、黒い実を付けていた、やがて黒い実も白くなるそう。</li> <li>○ 天王山頂上の紅葉が見事にきれいに赤くなっていた。</li> <li>○ ミツマタも早々と蕾を付けていて、来年が楽しみだ。</li> </ul> <p>ヒヤリハット無し</p> <p style="text-align: right;">記入者 能登恵美子</p>				

<ジャンル> 岩登り	 山行報告			西山HC
行き先	<b>金毘羅山・Y懸尾根</b>			
日時	2022年10月31日(月)	天気	曇り	
CL	馬場重明	SL	旭 眞、木地弘恵	
≪参加者≫ 9人 …… 旭眞、猪倉美佐子、和泉奈緒美、木地弘恵、馬場重明、深田雅子、福田設子、峯尾靖子、横山共栄 ※敬称略				
≪アクセス・コースタイム≫ 江文神社トイレ前 (9:40 集合) ~9:45~上の広場 (ストレッチ・基本練習) ~10:15 発~10:25 Y懸尾根取付き発~12:15 Y懸尾根・北尾根合流地点 (昼食 25分) 12:40 発~13:15~Y懸尾根頭 (懸垂下降練習) ~14:25 発~江文神社トイレ前 14:55 解散				
≪リーダー報告≫ ◆1年ぶりのY懸尾根のロッククライミング。今回は常連さんに加え、「お久しぶり」の人が複数参加し、にぎやかになった。 ◆江文神社上の広場で、ハーネスの履き方やエイトノットでのロープの装着法などを復習し、半マストノットによるビレイの練習も行った。 ◆「お久しぶり」の人や比較的新しい人は、Y懸尾根取付きの長い岩場、Y懸尾根と北尾根合流点下の難所、ホワイトチムニー上部の難所の三か所でロープを張ってビレイしながら登ってもらった。これらの難所は、京都労山の初級学校などでも事故のおこっているところであることを声かけしお互いに注意しながら登った。ベテランのみなさんにエイトノットでのロープの装着など援助してもらった。旭SLと、初挑戦の木地SLがビレイヤーを務めた。半マストノットによるビレイは細心の注意が必要だが、慣れるにしたがってスムーズにできるようになった。 ◆Y懸尾根の頭で懸垂下降を楽しんだ。「初体験」の人もいたので、「アドバイス」の声が大きかった。2回目をやろうとしたときに雨がぱらついてきたので断念し、下山した。 ◆曇りのち晴れの天気予報だったが、終日曇りで肌寒かった。高齢化がすすんで外岩でのクライミングの機会が少なくなった。インドクライミングと違いリスクが大きいので、なかなか計画立案に踏み切れないが、やれば面白いので、安全第一に年に何回かは実施したい。 ◆ヒヤリハットなし。				

<報告：馬場重明>

ジャンル 一般	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	熊野古道・中辺路		
日時	2022年 11 月1日(火)～4 日(金)	天気 1 日小雨 2 日・3・日・4 日晴れ	
CL	能登恵美子	SL	峯尾靖子
<参加者> 池澤晶子、井上美智子、大田喜代恵 木下敦子、 久世谷登志子、能登恵美子、峯尾靖子、山口礼子 8名			
<コースタイム>			
1 日 JR新大阪駅 12:15 発⇒紀伊田辺駅 14:29 着、紀伊田辺駅 14:50 発バス⇒近露王子 16:04着、～民宿ちかつゆ 16:10			
2日 朝食を済ませ、宿 6:30 出発～6:43 発バスで近露～滝尻王子 7:17 着～不寝王子～高原熊野神社～大門王子～十丈王子 11:30 昼食 12:05 出発、大坂本王子～箸折峠～近露王子⇒宿の車で継 桜王子、野中の清水、とがのき茶屋、秀衡桜、観賞～宿 16:25 着			
3 日 宿 7:00 出発～7:23 発バスで近露王子から小広峠 7:33 着、 トイレで用足し熊瀬川王子～10:10 岩上峠～11:00 蛇形地蔵～ 11:40 三越峠昼食 12:00 発～13:15 船玉神社～13:30 猪鼻王子～ 13:50 発心門王子～15:15 伏拝王子～15:40 三軒茶屋跡 16:30 本 宮⇒宿の車で川湯まつや			
4 日 宿の車で 8:00 出発⇒8:20 着発心門王子～10:20 鍋割地蔵 ～柿原茶屋跡～12:00 湯の峰温泉、昼食 12:30～13:25 月見が丘 神社～14:05 熊野本宮大社参拝、15:00 解散 15:05 発紀伊田辺駅 行きにバスに乗りし帰路に。			
会計報告			
収入	17500×8=140000	追加金 1200×8=9600	合計 149600
支出	民宿ちかつゆ 11580×7=81060	19300	小計 100360
	川湯まつや 5520×8=44160		小計 44160
	シャトル便 3000	コインロッカー500	
	柚子最中 1296	クーポン 1 枚と296	
	3 日朝バス代 3200	クーポン3枚と 200	
	文書通信費 1084		小計 5080
			合計 149600

<リーダー報告>

- 1日は小雨が降っていたが、鉄道とバスの移動で雨に降られる事なく移動ができ、バス停から宿迄5分程も小雨で良かった。宿に到着時点で、2泊なので1人6枚のクーポン券を貰い、翌日早出の為に翌日の朝食と昼食を買いに宿の車で行く。
- 2日バスに乗って出発、バス代はクーポン利用で助かった。滝尻王子からのスタート。前日の雨も上り霧がかかっていた。前日の雨量は大した事なく、湿り具合もさほどでもなく、とても歩きやすかった。飯盛山では雲海を臨むことができた。高原熊野神社の楠は樹高20メートル幹周り7,35メートルその前で記念撮影、その後、高原霧の里休憩所でのんびり寛ぎ、トイレも使用させて頂いた。近露王子に着く前に宿に連絡し、宿の車で継桜王子迄移動し、近露王子に折り返し歩いた。野中の清水を頂いて、とがのき茶屋でボランティアの女性からお茶の接待を受け、滝尻王子の胎内くぐりと乳岩と秀衡桜の謂れの説明を受けた。宿に着くと、1人写真付きの身分証明書が無いので1人だけ旅行支援は該当なしと言われ残念だった。
- 3日バスで近露から小広峠へ、今日も霧がかかっており、樹間からさす朝日が美しく感動した。ブロックン現象が現れないか、期待したが無理だった。
- 仲人茶屋跡から蛇形地藏迄の間は迂回路となっていた。
- 4日なべわり地藏付近は見晴らしがよく、遠くの山並みを眺めながら歩く、湯の峰温泉の坪湯は小さすぎて、待ち時間も長く入湯断念。リンドウの花が古道両脇に延々と咲いていて、心和まされた。熊野本宮に皆揃って参拝出来て満足でした。
- 民宿ちかつゆのご主人曰く、健脚な男性でも滝尻から熊野本宮迄の踏破は根をあげるとの事、しかし私たちは3日間で10万歩歩いた。足は疲れているが皆揃って無事帰宅出来た。恐るべし西山ハイキングクラブの女子達である。
- 今回の山行ではシャトル便、コインロッカーなど、又洗濯機、乾燥機設置有りで着替えが少なめでよく、随所にトイレ、ドリンクの自販機が有り、それに宿の車での送迎サービスもあって、何泊でも出来るサービスと施設が整っていた。

ヒヤリハット無し

記入者 能登恵美子

ジャンル 一般	山 行 報 告			西山ハイキングクラブ
行き先	公開バスハイク 百里ヶ岳			
日時	2022年11月3日(木)	天気	快晴	
リーダー	深田雅子	サブリーダー	永本芳江	
<p>&lt;参加者&gt; 旭眞、猪倉美佐子、五十棲節子、加藤ゆり、片山富子、岸本貴美男、北千恵子、北村初恵、小西弥生、田中佳代子、永田芳江、永本芳江、西尾久枝、林導、藤本真弓、深田雅子、福田設子、吉谷由美子          会員 18 人、一般井上佐知子、宮田一司 2 人 計 20 人</p>				
<p>&lt;コースタイム&gt; JR 長岡京駅 7:00 発=9:05 小入谷越着 9:15 発=11:18 シチクレ峠=12:10 百里ヶ岳 昼食 12:45 発=13:40 シチクレ峠=15:20 小入谷越 15:30 バス乗車=17:45 JR 長岡京駅</p>				
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <p>○コロナ禍でできなかった山行部の公開バスハイクをすることにし、秋なので紅葉が素晴らしい百里ヶ岳とした。朽木からの道が狭いのでマイクロバスとし、参加は 20 人。2 市 2 町の広報に募集依頼をすると、向日市、島本町から 2 人の申し込みがあった。根来坂峠へ下り周回するコースが一般的だが、長くなるので百里新道のピストンとした。</p> <p>○百里ヶ岳への登りが 3 時間かかるので、昼食場所は考慮するとしていたが少し食べてもらい 12:00 過ぎに百里ヶ岳につき昼食できた。取りつき尾根は樹林態で道がわかりにくく赤テープが見つげにくかった。シチクレ峠付近で狭いところもあり気を付ける呼びかけをした。急なところもあったが紅葉を楽しみながら落ち葉をサクサクさせて歩きました。</p> <p>○一般の 2 人も歩かれている人なので全く心配なく紅葉を楽しんでおられました。20 人なので 3 グループに分け、行ったことのある猪倉美佐子さん、永田芳江さんにグループをまとめていただきました。ありがとうございました。アクセスを心配していましたが行き 2 時間 5 分、帰りもそれほど渋滞もなく 2 時間 15 分で長岡京駅着。 ○ヒヤリハットなし</p> <p>○高速道路を使わなかったのでバス代が安くあがりました。参加費 121000 円。バス代 111100、一般の保険代 352 円。残金 9548 円は次期の特別会計に入れます。 報告者:深田雅子</p>				

ジャンル 一般	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	らくなんトレイル②喜撰山416m		
日時	2022年11月4日(金)	天気	晴れ
リーダー	山下美喜子	サブリーダー	安達正明
<p>&lt;参加者&gt; 合計 11名          安達正明 和泉奈緒美 大西育子 岸本貴美男 鈴木洋一          谷口信子 林謙佐郎 福田設子 前原利生 山下美喜子 吉田京子</p>			
<p>&lt;コースタイム&gt;          京阪宇治駅8:40～宇治神社8:48～宇治上神社8:52～大吉山9:26          朝日山9:35～神女神社10:25～P363m地点昼食12:00～12:35          喜撰法師洞窟13:30～喜撰山13:40～槇尾山展望ポイント14:50          天が瀬ダムの見えるところ15:00～車道～右岸～宇治橋16:30解散</p>			
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <p><b>1</b> 天気に恵まれ 集合もよく メンバーに恵まれ、西山天王山駅からバスに乗る。淀駅には渋滞のため、15分遅れで到着した。</p> <p><b>2</b> 宇治駅広場でコース説明・自己紹介・体操をして出発する。石畳径を歩き、神社に参り大吉山に進む。多くの早朝ハイキングの方にすれ違う。大吉山からの展望はとても良い。朝日山では観音堂でヒマワリの種を10円で買う。手の平にのせてじっとしているとヤマガラが手の平にのり顔をじっと見て種を食べていく。あっちからこっちから飛んできてとてもかわいかった。神女神社からの尾根道は急登であった。らくなんトレイルの黄色のテープなどで確認しながら進んでいった。昼食後いよいよ喜撰山。尾根道で出会った洛南山の会のSさんが間違えやすいポイントで必ず待ってくれ、さりげなくリードしてくれた。喜撰法師の洞窟にも案内してくれ百人一首の法師の歌の説明もしてくれた。ファンだという。展望台の眺めよく森林公園出口に向かう。Sさんがここでも待っていてくれ、右岸への道をリードしてくれた。皆さん長距離歩きであったが、トラブルもなく元気に完歩された。距離15キロ 上り883m 下り882m 洛南トレイル②はいくつかの厳しい山、車道・林道も多く時間がかかりました。</p> <p><b>3</b> ヒヤリハットなし <span style="float: right;">記 山下美喜子</span></p>			

ジャンル 一般	山 行 報 告			西山ハイキングクラブ
行き先	倶留尊山(1037m)			
日 時	2022年 11月5日(土)	天 気	晴	
リーダー	猪倉美佐子	サブリーダー	猪倉 清	
<p>&lt;参加者&gt; 12名 猪倉 清、猪倉美佐子、鹿島和子、加藤ゆり、久保まさ子、北千恵子、公森満子、島田江里子、谷口信子、田村佐多子、永田芳江、安井芳夫</p>				
<p>&lt;コースタイム&gt; 近鉄京都駅 7:41 発一名張着 9:22—三重交通バス発 9:35—曾爾高原着 10:22—長尾峠 11:20—亀山(昼食 11:45～12:15)—亀山峠 12:32—二本ボソ 13:00～13:18—倶留尊山 13:40(1班4名)—二本ボソ(2班6名+2名) 13:40—亀山峠 14:30—峠からの下山口で合流 14:40—青少年子供の家 15:00—バス停着 15:15(解散)—バス発 15:27—名張駅着 16:14—近鉄発 16:19—大和八木 17:15—京都着 18:18 (山中休憩数回)</p>				
<p>&lt;リーダー報告&gt; ヒヤリハットはありません。</p> <p>* ススキの時期に訪れた事が無かったので例会に組んだ。若者が多く、特に夕陽に照らされたススキが人気で我々が帰る15時過ぎからすごい数のマイカーがどんどん上がって来た。お陰で近鉄はゆっくり座れバスも全員座れた。三重交通バスは、全員座れるようにバスを増発していた</p> <p>* ススキは広範囲に群生していて見ごたえがあった。二本ボソから目の前にそびえる倶留尊山の紅葉も素晴らしかった。</p> <p>* 亀山までに思っていたより時間がかかった。亀山峠から倶留尊山へピストンの予定だったが2班のペースがぐんと落ち、目の前の急坂を下り、急坂を登り岩場を越えての往復を考え二本ボソから引返すことにし、先に進んでいた1班に連絡したが、もうすぐなので行きたいという事でS.Lと3人が頂上を目指した。2班6名+1班2名は二本ボソからの絶景を楽しんだり、お亀池が一望できる尾根でゆっくり休憩し、曾爾高原を満喫しながら下った。丁度下山口近くで1班、2班が合流した。</p> <p>* 「頂上に行ったという満足感があるが展望は無い。最後の岩場は足が上がりず若者に励ましてもらった。しんどかった。」と倶留尊山の頂上を踏んだ方の感想でした。  <p style="text-align: right;">記入者: 猪倉美佐子</p> </p>				

ジャンル 健脚	山 行 報 告			西山ハイキングクラブ
行き先	武奈ヶ岳			
日 時	2022年11月6日(日)	天 気	晴	
リーダー	旭 眞	サブリーダー	野村輝行	
<p>&lt;参加者&gt;計8名  旭 眞、田村太二、野沢昭二、野村輝行、福田設子、松野周治、山下美喜子、横山共栄</p>				
<p>J R比良駅 (バス) 8:20 発=イン谷口 8:30---大山口 9:01---青ガレ---9:41 金糞峠 10:25---コヤマノ岳 11:37---武奈ヶ岳 12:00---イブルキノコバ 12:53---八雲ヶ原---北比良峠 13:45---大山口 15:19---イン谷口 15:45 (解散) バス停 16:00 乗車</p>				
<p>&lt;リーダー報告&gt; (皆に知ってもらいたい事・改善点・ヒヤリハット・感想等)</p> <p>1. 本日は、天気が良く快晴に近い。紅葉を期待してイン谷から登山を開始した。朝の肌寒い山道を軽快なピッチで歩く。途中の水場で休憩し、青ガレまで行ってストックをしまつて岩場をよじ登っていった。ガレ場に来ると以前より少しガレ石が少なくなっているように感じた。急登を登りきると金糞峠に到着した。風が寒く日向で休憩をとる。</p> <p>2. その後コヤマノ岳を目指し、更に急登の後、頂上で行動食を取った。その後、武奈ヶ岳へは、ブナ林が続く。ブナの葉がすべて落ちて見通しが良い。やがて武奈ヶ岳山頂に到着し、行動食を取る。快晴での展望がすばらしい。到着時間は、12:00で予定より30分も早かった。イブルキノコバまでの山道は、谷筋から迂回の尾根筋道があり、その道で下山した。八雲ヶ原までの山道は、黄色に染まった葉を眺めながら歩き、その後、ダケ道も紅葉を楽しみながら下山する事が出来て良かった。みんなで軽快なピッチで歩けた為、帰りのバスも1本早い16:00に乗車できた。無事安全にみんなで楽しめたことが何よりであった。(全行程所要時間7時間15分) ★ヒヤリハットなし</p> <p style="text-align: right;">記入者:旭 眞</p>				

ジャンル 超楽	山行報告			西山ハイキングクラブ
行き先	花見小路～六波羅密寺へ 古都まち歩き			
日時	2022年11月7日(月)	天気	晴れ	
リーダー	持永由紀子	サブリーダー	山岳邦枝	
<p>&lt;参加者&gt; 18名          安達千代子、伊佐恵美子、植村節子、北千恵子、木下基、久貝浩子、草場眞知子、小林富子、鈴木洋一、田口博子、中村あさ子、持永由紀子、森淑子、安井芳男、山本恵俊、山川千津子、山岳邦枝、和田喜美子</p>				
<p>&lt;コースタイム&gt;          9:30 阪急四条河原町出発・・・ 9:47 四条花見小路を歩く・・・          9:55 建仁寺到着 (10:00～10:50) 建仁寺自由見学・・・          (11:00～12:00) 六道珍皇寺にて 住職による講話と案内・・・          (12:09～12:17) 六波羅密寺参拝 解散</p>				
<p>&lt;リーダー報告&gt;          ☆建仁寺は京都最古の禅寺と言われるだけあって、どっしりとした建物や庭に歴史を感じました。栄西禅師が説いた「大いなる哉 心や」の通り ーここにいるだけでこころ静かに自らと向き合えるー そんなお寺でした。雲龍図、襖絵、法堂の天井画もすばらしく、またゆっくり訪れてみたいと思いました。</p> <p>☆六道珍皇寺では住職より興味深い話をさせていただきました。「黄泉がえりの井戸」などを見学し、「迎え鐘」もつかせてもらいました。珍皇寺の門前が冥途に通う「六道の辻」にあたっていることより、お盆には「迎え鐘」をついて「精霊迎え・六道まいり」の行事が生まれたと知りました。</p> <p>☆六波羅密寺で参拝をした後、解散としました。</p> <p>☆町中の細い路地を抜けると、あちこちにお寺があり、また歩いてみたいです。</p> <p>☆天気も良く、大勢で散策して楽しかったです。</p> <p>ヒヤリハットなし</p> <p style="text-align: right;">記入者 持永由紀子</p>				

ジャンル ビスタリー	山行報告			西山ハイキングクラブ
行き先	鳥取城&米子城&月山富田城			
日時	2022年11月7～8日	天気	晴れ/晴れ	
リーダー	林 導	サブリーダー	村田君代	
<p>&lt;参加者&gt; 会員 11名 池澤晶子、和泉奈緒美、鹿島和子、草場克彦、久世谷登志子、中村好夫、西尾久枝、林導、深田雅子、前原利生、村田君代</p>				
<p>&lt;コースタイム&gt;</p> <p>1日目:JR京都駅 7:06-(新大阪 7:30)-10:12 鳥取駅～徒歩～10:45 鳥取城入口～11:50 本丸(頂上)12:00～12:35 バス乗り場 12:44～12:58 鳥取駅 13:06-14:10 米子駅-タクシー 14:25 米子城入口～15:00 本丸(頂上)～15:35 登山口 15:50-タクシー 16:15 皆生温泉(泊)</p> <p>2日目:皆生温泉 8:25-タクシー 9:00 水木しげるロード～(散策)～境港駅 10:30-11:11 米子駅(昼食)11:41-11:48 安来駅 11:55-タクシー 12:10 月山富田城登山口 12:25～13:45 本丸(頂上)14:00～14:55 登山口 15:20-タクシー 15:40 安来駅着(解散) 16:17-18:39 岡山 18:49-20:12 新大阪</p>				
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 二日間とも好天に恵まれ、無事、山陰三名城の本丸(頂上)まで行く事が出来た。(この時期にしては気温が高く汗ばんだ。)</li> <li>* JR山陰線は列車本数が少なく、JRの時間の関係で、鳥取城での講師説明時間がとれなかった。(本丸まで往復歩くのがぎりぎりだった。)</li> <li>* 宿の部屋に集まり、あらためて、鳥取城の説明をして頂いた。</li> <li>* 旅行支援金制度が適用になり、宿泊費が安くなる分、タクシーを多用したが正解だった。交通の便が悪い地域では、積極的にタクシー利用をすることをお勧めします。</li> <li>* 地域振興クーポンも貰うことができ、お得な山城歩きとなった。</li> <li>* 折角米子の方まで行くのだからと3つの城歩きを計画したが、欲張り過ぎました。もっと余裕のある計画にすべきでした。</li> <li>* ヒヤリハットは無し。</li> </ul> <p style="text-align: right;">記入者:林 導</p>				

ジャンル 健脚	山行報告			西山ハイキングクラブ
行き先	大杉谷～日出ヶ岳			
日時	2022年11月7日(月)～8 日(火)	天気	晴れ	
リーダー	吉谷由美子	サブリーダー	井上美智子	
<p>&lt;参加者&gt; 4名 井上美智子 太田澄江 吉田京子 吉谷由美子</p>				
<p>&lt;コースタイム&gt;</p> <p>7日(月) 京都6:43発近鉄→大和八木 7:44 着 近鉄急行大阪行五十鈴行き 7:48 発→松阪9:12着→JR紀勢線伊勢行き 9:24 発→多気9:35着→紀勢線新宮行9:43発→三瀬谷10:14着→タクシーで大杉谷登山口11:30着 昼食11:50発～宮川第3発電所11:55～大日グラ吊橋12:15(休む)～千宏滝 13:35(休む)～ニコニコ滝 14:40～平等ぐら吊橋15:15(休む)～加茂助吊橋 15:30(休む)～桃ノ木山の家 15:55 到着(泊まり)</p> <p>8日(火)桃ノ木山の家 6:40 発～七ツ釜滝 7:13(休む)～崩壊地 7:44～光滝 8:10(休む)～堂倉滝(休む)9:02～避難小屋 10:17 昼食～シャクナゲ平 12:01(休む)～日出が岳 13:05～大台ヶ原駐車場 14:11(解散)→奈良交通バス 16:00→橿原神宮駅 18:40 着 夕食→近鉄京都市行 19:35→京都 20:49 着</p>				
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <p>○京都を出発して5時間大杉谷登山口に到着途中松阪駅で近鉄から JR線に乗り換える時イコカの精算でトラブル(イコカ使用の場合は松阪で精算する必要がある)</p> <p>○登山口で昼食をとり出発する。</p> <p>○右手はそそり立つ断崖、左手は100メートルはあろうかと思われる谷幅1メートル位の登山道をクサリを持ちながら恐る恐る進みました。 下に見える谷はコバルトブルーの水をたたえた川や落差の大きい滝紅葉した木々等素晴らしい景色でした。 でもよそ見するのが怖くて足元ばかり見て歩いてしまいました。</p>				

- 進んでいくとすだれをかけたような落差160メートルあると言われる千尋滝、平等グラと言われる大岸壁をよじ登りいくつもの吊橋を渡って桃ノ木小屋へ到着しました。
- 桃ノ木小屋は奥深い谷の中にありました。
- 翌日も前半はいくつもの吊橋を渡り3段になって落ちる七ツ釜滝、大きな岩がゴロゴロしていく手を阻む崩壊地、岩をよじ登っていくとひかり滝、隠滝、与八郎滝、落差18メートルの広い青い水をたたえる滝つぼのある堂倉滝が見えました。溪谷はここまででそこから長い登りが続きます。
- 長い登りを終わると広い道路を横切り避難小屋へ、そこで早めの昼食をとりシャクナゲのたくさん生えているシャクナゲ坂～シャクナゲ平
- 日出が岳へは長い階段の道が続きます。
- 日出が岳はたくさんの方が来ていました。
- 大台ヶ原からは高原バスで素晴らしい紅葉を見ながら2時間半橿原神宮駅迄の道のりをバスハイクしました。
- ヒヤリハットはありません。

記入者 吉谷由美子

#### 会計報告

集金 58800円(14700円×4)

タクシー代 14450円

宿泊費 40000円

弁当代 4000円

通信費 350円

#### 交通費各自負担

近鉄 京都～松阪 1840円 橿原神宮駅～京都 900円

JR 松阪～三瀬谷 580円

奈良交通バス 大台ヶ原～橿原神宮駅 2700円

ジャンル 一般	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	比良・比叡トレイルー打見山から霊仙山ー		
日時	2022年11月9日(水)	天気	晴れ
リーダー	操谷俊之	サブリーダー	加藤ゆり 山下美喜子
<p>&lt;参加者&gt; 会員9名 一般参加者1名          岩崎京子、岡庭美恵子、片山富子、加藤ゆり、岸本貴美男、木下裕子、操谷俊之、林田正志(一般)、山下美喜子、山本恵俊</p>			
<p>&lt;コースタイム&gt;          JR京都駅7時45分集合、7時57分発…JR志賀駅8:54(出発)～樹下神社          9:08～9:55ロープウェイ山麓駅…打見山山上駅10:10～10:29蓬莱山          (休憩18分)10:47～11:08小女郎峠(昼食休憩36分)11:44～12:01          ホッケ山(休憩12分)12:13～12:32権現山(休憩19分)12:51～14:02          霊仙山(休憩15分)14:17～15:03霊仙山口～15:43栗原バス停(解散)</p>			
<p>&lt;リーダー報告&gt;          今回の区間は計画当初、総距離約17km、累積高低差約1700mと試算されたが、打見山までの登りにロープウェイ利用、栗原からJR和邇駅までバス利用とすることで歩行総距離約11.5km、累積上昇高度約580m、累積下降高度約1280mと負荷を減じて実施した。おかげで時間にゆとりができ、歩行速度もゆっくり。休憩回数、時間も多くとることにした。青空の下、紅葉で彩られた山肌を見ながらの山歩きを満喫した。後半の権現山山頂からの急な下りや霊仙山の急な登りと下りでは、一部滑りやすい箇所があり、歩行には慎重を要した。          今回は、直前に2人のキャンセル、1人の一般参加があり、10人での山行となった。一般参加の林田さんは、終始、顔の表情も良く、安定した足取りで、急な下りも不安なくしっかり歩かれた。          小女郎峠での昼食休憩時、大阪のラジオ局の記者から取材を受けた。</p>			
ヒヤリハットなし		記入者：操谷俊之	

ジャンル 岩登り	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	はじめてのインドアクライミング 第106回 やまびこ くらぶ		
日時	2022年11月9日(水)	天気	晴
リーダー	猪倉美佐子	サブリーダー	馬場重明
<p>&lt;参加者&gt; 12名 旭 眞、猪倉美佐子、木地弘恵、久保まさ子、北川真理、 小原清志、林導、馬場重明、峯尾靖子、横山共栄 (乙訓山の会)永石睦子、平田政忠</p>			
<p>&lt;コースタイム&gt; 原谷やまびこくらぶ2F 14:00~17:00(現地集合、解散)</p>			
<p>&lt;リーダー報告&gt; ヒヤリ・ハットはありません。 *今日も皆さんに、登る時以外はマスクの着用と、何年振りかで参加された林さんのフォローをお願いした。 *吹田のクライミング教室に参加されているお二人も皆さんと一緒にスムーズに登っていた。S.Lがついてビレイの練習をしてもらった。教室で教えてもらったので、難なくこなしていた。これからもどんどんビレイに慣れて12月第2週に行われる目俵体育館のビレイ検定に合格して、やまびこでも皆さんのビレイをお願いします。 *先月は左の壁をトライしていた皆さんが今回は右壁の新しいルートに挑戦していた。林さんも何本か登られ感覚が戻ってきたようです。 *やまびこの受付の前にいつも野菜が並んでいる。 今日は里芋、まびき菜、大根、サツマイモ、どれも100円也。 *5月に100回を迎え今年もあと1回のみ。帰り際に、忘年会をしようと言う声があがり来月の例会終了後にとという事に決まった。 コロナが小康状態でありますように。</p> <p style="text-align: right;">記入者:猪倉 美佐子</p>			



ジャンル らくらく	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	天王山散歩 秋を訪ねて グルメ山行⑦		
日時	2022年11月11日(金)	天気	晴れ
リーダー	林 謙佐郎	サブリーダー	木下敦子
<p>&lt;参加者&gt; 会員 9 名 上田和美、北 千恵子、木下敦子、久貝浩子、草場克彦、小林富子、林 謙佐郎、峯尾靖子、山下美喜子</p>			
<p>&lt;コースタイム&gt; 西山天王山駅 9:00～小倉神社 9:15～柳谷分岐 9:55～サントリー山 10:20～天王山山頂 10:30～十七烈士の墓 11:30～阪急大山崎 12:15～食事処</p>			
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 朝から眩しいぐらいの晴天の下での山行となった。</li> <li>* 集合場所で6名、小倉神社で3名が合流、9名となった。</li> <li>* 小倉神社で体操をして登山開始。</li> <li>* 天王山登山が5年ぶりの方もあり、ゆっくりと登る。</li> <li>* 分岐でNご夫妻と出会い歓談。</li> <li>* 縦走路を歩き、サントリー山で休憩、汗ばむ陽気だ。</li> <li>* 天王山山頂からの下りは、慎重に、ゆっくりと。</li> <li>* 食事処の予約時間に15分遅れて、中華旬菜「味彩」に到着。</li> <li>* コース料理をいただく。本格的な中華料理だ。</li> <li>* 前菜、スープ、サラダ、が出て、メイン料理は海老の甘酢炒め or 毛沢東チキンを選択、汁麺、杏仁豆腐、飲み物付きで1650円(税込み)は廉価で、美味しく、満腹だった。毛沢東チキンはなかなか美味だった。</li> <li>* ヒヤリハット無し</li> </ul> <p style="text-align: right;">記入者：林 謙佐郎</p>			

<ジャンル> 一般	 <b>山行報告</b>			西山H C
行き先	いろんな道から <b>ポンポン山⑱</b>			
日 時	2022年11月12日(土)	天気	晴	
C L	馬場重明	S L	島田江里子、永本芳江	
≪参加者≫ 14人 …… 和泉奈緒美、鹿島和子、岸本貴美男、草場眞知子、島田江里子、瀬古京子、谷口信子、永本芳江、夏原典子、能登恵美子、馬場重明、深田雅子、山崎富美江、山下美喜子 ※敬称略				
≪アクセス・コースタイム≫ 阪急東向日駅前 8:42→<阪急バス>→9:13 善峯寺バス停 (ストレッチ) 9:35 発 ～9:50 三鈷寺 (休憩 5分) ～10:18 北尾往生院跡 (休憩 5分) ～10:40 杉谷 (休憩 5分) ～11:08 東尾根の峠 (休憩 7分) ～11:34 縦走路東尾根入口～11:52 ポンポン山 (昼食) 12:28 発～12:47 リョウブの丘 (休憩 5分) ～13:30 ツツジの丘 (休憩 8分) ～14:06 森の案内所 (休憩 10分) ～14:42 無縁塚 (休憩 8分) ～15:09 金蔵寺 ～15:22 不動明王 (休憩 5分) ～15:38 車道・登山口～16:08 灰方バス停 (16:10 解散) 16:25→<阪急バス>→東向日駅など各地へ				
≪リーダー報告≫ ◆当初計画では森の案内所までタクシーで入り、静かな西尾根～東尾根を巡る予定だったが、紅葉シーズンでタクシー予約ができず、計画を変更せざるを得なかった。善峯寺に向かうバスも、始発の JR 向日町駅から満杯で、東向日駅からの乗客はほとんど立っていった。 ◆三鈷寺から善峯寺の見事な紅葉を眺めて往生院を訪ねた。杉谷から東尾根に取りつくマイナーなルートをたどったが、倒木が多く障害物競走のようだった。東尾根を登り、ポンポン山で昼食を摂った後、西尾根を下った。落ち葉の絨毯が心地よかった。しかし急斜面では滑るので慎重に下った。ところどころで赤や黄の紅葉を見ることができた。まだまっさかりではないが陽があたっているところは何とも素晴らしい。 ◆このシリーズは近年入会した会員さんの「自分ではまだ計画できないのにコロナ禍で行ける山がない」との嘆きの声を聞いて2020年にはじめたもの。近年入会の会員を優先したが、当初から、申し込んだベテラン会員さんもすべて参加してもらった。コロナは第8波に入りかけているが行動制限はなく、西山H Cの山行計画も例年並みに増えてきた。頭書の役割は果たせたと考える。またポンポン山の東側からの一般ルートはほぼ行きつくした。西側(出灰)からの一般ルートは4本ほど残っているが、倒木処理等で通行止めになっており、解除の見通しがたっていない。いったん休止することにした。S Lを務めていただいた島田さん、永本さん、お疲れさまでした。ヒヤリハットなし。<報告:馬場重明>				

ジャンル 一般	山行報告			西山ハイキングクラブ
行き先	希望ヶ丘縦走 鏡山～城山～野洲駅			
日時	2022年11月15日 (火)	天気	曇り一時晴れ	
リーダー	深田雅子	サブリーダー	福田設子	
<p>&lt;参加者&gt; 伊藤明代、鹿島和子、岸本貴美男、草場眞知子、瀬古京子、谷口信子、西尾久枝、深田雅子、福田設子、前原利生、峯尾靖子、山下美喜子 計、12人</p>				
<p>&lt;コースタイム&gt;野洲駅 近江バス8:55発＝鏡登山口 9:10ストレッチ 一大谷池一登山口一10:45鏡山一立石山手前 昼食11:30～12:00一立石山一12:30古城山一13:05城山 13:15発一13:45休憩一14:05西ゲート トイレ 14:15発一15:05野洲駅</p>				
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <p>○初めての人半数で、鏡山、立石山、古城山、城山と縦走した。気温も下がり快適な歩きとなり、縦走は5時間+野洲駅まで1時間弱歩いた。予想より短かった。低山なので暑い時期は歩みも遅くなりしんどいところ。</p> <p>○道の真ん中に岩があったり、砂状のザレの道下り、城山へはロープのついた岩場を登ります。乾いていたので難なくクリア。城山からの下りがきついで十分注意して下りる。以前歩いたH30～H28に下る道も間違えずに歩け川を飛び石で西ゲートに着。参加者からはいろんな道で飽きずに歩けたとの感想でした。鷹の爪がたくさん黄色に光っていました。城山からの下の希望ヶ丘、三上山などのビューポイントには絶賛されていました。紅葉時期がやはり良かったです。</p> <p>○何人かとすれ違いました。西ゲートの芝生広場にも1つだけテントが見えましたが静かでした。</p> <p>○ヒヤリハットなし</p> <p style="text-align: right;">記入者:深田雅子</p>				

ジャンル ビスターリ	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	京都一周トレイル北山① ケーブル比叡～横高山、水井山、戸寺		
日時	2022年11月16日 (水)	天気	曇り時々晴れ
CL	島田 江里子	SL	北千恵子、永本芳江
<p>&lt;参加者&gt; 会員8名 旭眞、片山富子、北千恵子、木下敦子、島田江里子、永本芳江、藤本眞弓、山本恵俊</p>			
<p>&lt;コースタイム&gt; 出町柳駅集合 9:00→叡山電鉄八瀬駅着 9:24→ケーブル比叡駅着 9:40 駅前広場体操→北山コース1出発 9:52→展望台休憩 10:15→転法輪堂(釈迦堂)トイレ休憩 10:53→玉体杉昼食 11:50～12:20→横高山 12:37→水井山 13:07→仰木峠 14:05→戸寺バス停 15:10 解散</p>			
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曇り空で、風は冷たかった。</li> <li>・叡山電車は満員で、八瀬駅は紅葉を求める人たちでにぎわっていた。八瀬駅周辺の紅葉はいつもながら見事で、ケーブル八瀬駅に向かう橋が改修工事で通行止めのため道路を迂回してケーブル駅に到着。ケーブルも満員。</li> <li>・ケーブル比叡駅前の広場で体操をしてから出発。トレイル番号の標識と道祖神を探しながら進む。道祖神は同じものではなく、一つ一つ違って面白く、道祖神がない標識は寂しいと感じる。</li> <li>・最初の展望台で休憩。春はツツジがきれいな場所で北山がよく見渡せるが曇り空のため紅葉の木々が映えないのが残念。</li> <li>・横高山に向かう峰道に並行して走るドライブウェイ側に紅葉がきれいに見える。比叡山のほうに行けばもっときれいな黄葉紅葉に出会えたと思うが、目的はトレイルに行くことなので我慢する。</li> <li>・玉体杉で早めに昼食をとるが、じっとしていると体が冷えてくる。</li> <li>・横高山と水井山の急登は、前はしんどく感じたが、今回はゆっくり登り、全員の足の調子が揃い休憩を何度か挿んで順調に下山出来た。仰木峠からの下りも黄葉はあったが、陽が当たらないとくすんで残念。</li> <li>・ヒヤリハットは、仰木峠から下った木の根道で、Yさんが気の根っこに足がからまりバランスをくずして前に倒れた。前に倒れた時にポールに身体があたりポールが曲がって緩衝材となりけがはなかった。下り道での注意不足と思われる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">・記入者：島田江里子</p>			

ジャンル 一般	山 行 報 告 西山ハイキングクラブ		
行き先	北山 古知谷～焼杉山～翠黛山		
日 時	11月17日(木)	天気	晴れ
リーダー	林ただし	サブリーダー	岡庭美恵子
<参加者> 11名 岩崎京子 岡庭美恵子 鹿島和子 岸本貴美男 久世谷登志子 永田芳江 林 導 林ただし 深田雅子 村上美枝子 山下美喜子			
<コースタイム> 地下鉄京都国際会館前 8:32 === 古知谷前 9:10/9:25～P600 10:25 ～焼杉山 11:35/12:05～翠黛山 13:30/13:40～寂光院 15:00～大原バス 停 15:25 解散			
<リーダー報告> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 晩秋の大原行バスは、超満員で発車する。</li> <li>・ 登山口は古知谷阿弥陀寺を入った所にあった。地主の「入山に迷惑・禁止」ごとの看板があり、躊躇したがCLの「GO サイン」でスタートする。いきなり、急な登りが続くが以外に山道は整備されていた。</li> <li>・ 息切れになりつつ、P600に到着、樹木に囲まれた広場だった。</li> <li>・ 鉄塔を三つ越え、鉄塔ごとに大原の町並みが見え、縦走路では黄葉・紅葉が美しく、なかでもタカノツメの黄葉は鮮やか。</li> <li>・ 急な登り、岩がゴロゴロした登りを経てようやく焼杉山に到着する。三角点あり。背中の汗が冷え、ぞくぞくしてきた。寒い！！</li> <li>・ 翠黛山へは、尾根道をそのまま下り、寂光院道分岐へ。そして再び登り、到着する。展望こそないがここまで三つのピークを押さえ、最終のピークに満足、まんぞく。</li> <li>・ 下山は、大原道をバス停に向かうが後半、道が荒れていたり、倒木があつたり、急坂だったりと簡単には下山させてくれなかった。</li> <li>・ ヒヤリハットなし。</li> </ul> <div style="text-align: right;">           〈記入者 岡庭美恵子〉         </div>			

ジャンル 超楽	山 行 報 告 西山ハイキングクラブ		
行き先	万博記念公園 太陽の塔・日本庭園		
日 時	2022年11月18日(金)	天 気	晴れ
リーダー	山下美喜子	サブリーダー	田口博子
<p>&lt;参加者&gt; 合計8名  久貝浩子 小林富子 清水伊都子 田口博子 和田喜美子  八尾てる美 安井昇太 山下美喜子</p>			
<p>&lt;コースタイム&gt;  長岡天神駅9:02＝南茨木9:26＝モノレール9:32＝万博公園9:38  太陽の塔10:00～10:40－広場昼食11:00～11:30－日本庭園－  万博記念公園駅13:30 解散</p>			
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <p>* 晴天に恵まれ気持ち良く 解放感に満ちた公園を歩く。太陽の塔は青空に大きくそびえていた。塔の裏の事務所で手続きをして入館する。どんな世界か 未知数であったが 地底の太陽ゾーン・生命の樹ゾーンがあり、生命のエネルギーを表しているようだ。半世紀ぶりに扉が開き、再生を果たし、2018年常設の展示施設に生まれ変わったとのこと。この表現を学び取るには大きすぎる素晴らしい作品だと思った。岡本太郎さんの創作に感動をした。</p> <p>* 日本庭園は美しい紅葉や松の緑・広い川砂・清い水の流れ・綺麗に管理された芝生の山、たくさんの樹木で素晴らしい庭を歩かせていただいた。中央の休憩所では、皆でソフトクリームを美味しく頂いた。</p> <p>* その他 バラ園が良い香りがして美しかったり、猿のさきちゃんの猿回しを見物したり、楽しく 公園の広さ・おいしい空気にリフレッシュした。皆さん気持ちがよかったようである。</p> <p>* ヒヤリハットなし</p> <p style="text-align: right;">記 山下美喜子</p>			

ジャンル らくらく	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	どこ行こ！天王山		
日時	2022年11月18日(金)	天気	晴
リーダー	吉田京子	サブリーダー	吉谷由美子
<p>&lt;参加者&gt; 8名          以西貞子 植村節子 木下敦子 春豊子          藤本真弓 峯尾靖子 吉谷由美子 吉田京子</p>			
<p>&lt;コースタイム&gt; 阪急西山天王山駅9:26小倉神社9:50柳谷分岐10:30サントリー広場10:50天王山頂上11:15昼食・応急処置下山12:30酒解神社12:45大山崎山荘13:10(解散)</p>			
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆日野さんが用事のため、SLを吉谷さんにお願ひしました。</li> <li>◆ゆっくり歩くよう心掛けました。</li> <li>◆久しぶりに天王山に来られた方もおられました。</li> <li>◆トレーニング中の西山会員の方、元会員の方に会いました。また29人の大集団が登山中でした。</li> <li>◆天王山頂上は、大勢の方が昼食中で賑やかでした。コロナ禍後初めて見た風景でした。</li> <li>◆吉谷さんのコンロ持参があり、湯を沸かしてコーヒーをいれ一息つきました。またロールケーキもあり豪華でした。</li> <li>◆昼食後は、吉谷さんから救急の携帯品、応急処置を学びました。止血、傷の手当て、骨折の対応、三角巾の使い方、ストックで松葉杖を作るなど、三角巾は実習しました。</li> <li>◆大山崎山荘前で解散をして、春さん先導で庭の見学をしました。皆さん「随分来ていないわ！」という方が多かったです。庭は手入れが行き届いて綺麗でした。さざんか、ツワブキ、モミジの紅葉が美しかったです。職員の方に「一番良い時に来られましたね！」といわれ、山荘に寄り良かったです。</li> <li>◆小春日和のなか、久しぶりに会う仲間とのお喋りも賑やかでした。</li> <li>◆ヒヤリハットなし</li> </ul> <p style="text-align: right;">記入者: 吉田京子</p>			

<ジャンル> 一般	 <b>山行報告</b> <span style="float: right;">西山H C</span>		
行き先	<教育部・初歩の岩山歩き> <b>三上山</b>		
日時	2022年11月18日(金)	天気	晴
C L	馬場重明	S L	久保まさ子
<<参加者>> 12人 ※敬称略 和泉奈緒美、伊藤明代、北千恵子、久保まさ子、五島ちまり、瀬古京子、谷口信子、能登恵美子、馬場重明、福田設子、古田博光、堀本信行			
<<アクセス・コースタイム>> JR 野洲駅 (9:45 集合) / 駅前バス停 10:00→<滋賀バス>→10:07 山出前バス停 (衣服調整) 10:12 発～10:14 表登山道入口～10:28 妙見堂跡 (休憩7分) ～10:47 二越～10:55 割岩 (通過・休憩20分) 11:15 発～11:35 三上山頂上 (432m 昼食) 12:10 発～12:45 中段の道分岐 (休憩5分) ～12:57 北尾根縦走路入口～13:15 (休憩5分) ～13:35 東光寺日陽山～13:40 (休憩15分) ～14:15 東光寺不動山～14:25 妙光寺山 (267m 休憩10分) ～14:50 妙光寺摩崖仏 (見学10分) ～15:05 登山口ゲート～15:20 稲荷神社～15:35 JR 野洲駅 (解散) / 15:47 発→<普通姫路行>→各地へ			
<<リーダー報告>> ◆三上山は一般山行ではよく取り組まれており、この7月にも登られたところ (旭CL)。しかし初歩の岩山歩きでは10年ぶりになる。 ◆登山口周辺には適当な所がないので、周りの目を気にしながら、野洲駅前のバスターミナルでストレッチしバスに乗りこんだ。表登山道入口から少し登った妙見堂跡で岩歩きの基本 (岩面にフラットに足を置く、者間距離をとり小幅で歩くなど) を打ち合わせた。みなさん、ザックを担いだままでは通れない割岩も難なくこなし、頂上までの岩場を楽しんだ。 ◆天気予報は晴なのに頂上付近はガスに覆われており、どうなることかと思っただが、だんだん晴れ渡り大展望も楽しめた。紅葉は色づきはじめ。 ◆昼食後、急坂を下って北尾根縦走路を歩いた。アップダウンが激しく陽を遮るものもない尾根道はやはりしんどい。時おりそよぐ風と木陰に癒された。しかし振り返って見る三上山の雄姿や景色は素晴らしい。「三上山ははじめて」という方が数人いたが、堪能されたのではないかな。東光寺日陽山、東光寺不動山、妙光寺山を巡り、妙光寺摩崖仏も見学した。 ◆2班に編成し、登りはCL・1班、下りはSL・2班が先導した。教育部のベテラン会員さんに各班のサポートをお願いした。東光寺不動山に向かう急登で足つりを起こしかけた人がいたが、久保SLの的確な判断で長い休憩をとり、事なきを得た。ヒヤリハットなし。<報告：馬場重明>			

ジャンル 一般	山 行 報 告 西山ハイキングクラブ		
行き先	ぶらり六甲 有馬から有馬三山		
日時	2022年11月19日(土)	天気	晴時々曇
リーダー	井上美智子	サブリーダー	吉谷由美子
<p>&lt;参加者&gt; 会員6名 一般1名  安達正明 井上美智子 能登恵美子 田村太二 林田正志(一般)  吉田京子 吉谷由美子</p>			
<p>&lt;コースタイム&gt;  阪急長岡天神駅7:25発→夙川駅＝バス③で有馬温泉駅 9:10出発～  落葉山～灰形山～湯槽谷山 11:00 昼食 11:30出発～極楽茶屋跡  ～六甲ガーデンテラス～みよし観音～神戸 GC～油コブシ道でケーブル  下駅＝バスで阪急六甲駅15:10 解散</p>			
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <p>○有馬三山(落葉山・灰形山・湯槽谷山)は、寺・岩・急登とそれぞれに個性があり楽しめる。また天気も良く、青い空を背景に黄色や赤に色づいた美しい木々を楽しみながらの山行だった。</p> <p>○一般参加者の林田さんが登りでバテられて、2番目に歩いてもらった。登りが苦手で、下りは得意ということだったが、先頭のCLのペースが速かったのか？(速くならないように注意していたのだが)他のメンバーは全く平気の様子。西山HCのメンバーは鍛えられているということなのか？(田村さんの復活も喜ばしい！)</p> <p>○昼食後、足攣り防止のためSLにぶらぶら体操を指導してもらった。(登りはじめにはいつもの体操もしている。効果は？足を攣った人はなかったが)</p> <p>○ケーブルが故障で運休中。(資材が輸入されず復興の見通しがたたない状態)ケーブル上駅で解散し、代替バスか歩きで下るか各自に選択してもらった予定だったが、全員歩いて下ることを選択された。(あっぱれ)</p> <p>○ヒヤリハットなし。</p>			
		<p>記入者井上美智子</p>	

ジャンル 一般	山行報告 西山ハイキングクラブ		
行き先	Viva around 唐櫃越 ⑦		
日時	'22年11月19日(土)	天気	晴れのち曇り
リーダー	小西弥生	サブリーダー	村田君代
<p>&lt;参加者&gt; 14 名</p> <p>足立光子 猪倉清 猪倉美佐子 和泉奈緒美 太田純江  鹿島和子 草場真知子 小西弥生 夏原典子 野沢昭二  林 導 村田君代 山口礼子 依田敏夫</p>			
<p>&lt;コースタイム&gt;</p> <p>JR 保津峡駅(ストレッチ)9:00~9:07→トロッコ保津峡駅9:20→  山上ヶ峰に続く分岐10:10→ロータリー10:30~10:37→山上ヶ峰  11:10→新烏ヶ岳の下辺り(昼休憩)11:35~12:05→新烏ヶ岳  12:10→17号橋(松尾谷林道出合)12:40→油の谷13:25~13:40  →阪急上桂駅 14:30 解散</p>			
<p>&lt;リーダー報告&gt;</p> <p>★唐櫃越シリーズ7回を実施</p> <p>★今回はこのシリーズ初、JR 保津峡スタートで山上ヶ峰を目指しました。</p> <p>★トロッコ保津峡の線路下をくぐり急登を登りはじめましたが、今週の  好天が幸いして、登山道が乾いていて滑りにくく登りやすかったです。</p> <p>★登りやすい道が幸いして、ロータリーで昼休憩を予定していましたが、  新烏ヶ岳辺りで昼休憩となりました。</p> <p>★急登にもめげず、皆さんの足並みが揃っていて、予定の時間を1時間  早く解散しました。</p> <p>★ヒヤリハットなし</p> <p style="text-align: right;">記入者:小西弥生</p>			

<ジャンル> 教育部	 <b>報 告</b> 西山HC		
内容	<b>第 4 回中級教室</b> (座学) ③		
日時	2022年11月20日(日)	会場	西山HC事務所
講師	中村好夫 馬場重明 林ただし /3人		
スタッフ	安達正明 能登恵美子 福田設子 /3人		
受講生	足立光子 以西貞子 和泉奈緒美 伊藤明代 井上美智子 木地弘恵 北千恵子 木下敦子 久保まさ子 小西弥生 五島ちまり 島田江里子 瀬古京子 谷口信子 野沢昭二 古田博光 吉田京子 吉谷由美子		
参加者計	計 24 人		
<<プログラム>>、 司会者あいさつ・本日のプログラムと講師紹介(福田設子)、 講義①リーダーの役割と仕事(馬場重明) 講義②具体的事例に基づくアクシデント対処法(中村好夫) 講義③雪山を学ぶ(林ただし) 今後のカリキュラムの説明(馬場)			
<<内容>> ◆講義①では、【リーダーの役割は、登山・ハイキングを楽しく安全に計画通りに実行すること】 1, リーダーはなぜ必要か 2, リーダーは誰でもできる 3, リーダーに求められるものは 4, リーダーの具体的な仕事(事前の準備) 5, リーダーの具体的な仕事(当日の行動) リーダーの奥深さと重要性が理解できました。 ◆講義②では、【組織された登山者は、集団の力(経験・知見・共同)で、困難やトラブルを克服できる】 1, どのようなアクシデントやトラブルが考えられるか 2, トラブル・アクシデントを事前に予防する 3, トラブルに遭ったら 具体的にどう行動すればいいのか、記憶に残しておきたいと思います。 ◆講義③では、【雪山に必要な知識と装備について】 1, 装備・使用法 2, 衣類について 3, 雪山での行動食と食事の取り方 4, 雪山の歩き方 <p style="text-align: right;">記入者：福田設子</p>			

## 安政の大獄 桜田門外の「変」(二)

8月3日 竹部 瑩

ではこの井伊の主人公である井伊直弼は幕末大老に就任したが、何故暗殺されたのか。彼は彦根 11 代藩主直中の 14 男として 1815 年（文化 12 年）12 月に生まれた。15 才から 32 才までは前述の「埋木舎」（うもれぎのや）で生活する。その間、茶道、華道、居合述を修行してその奥義をきわめた。嘉永 3 年、長兄の死去により 13 代彦根藩主となり仁政を行った。1858 年（安政 5 年）4 月 23 日、大老に就任。徳川幕府の政治に大きな影響を与えた。1854 年（安政元年）1 月ペリー軍艦 7 隻を率い再来航。同年 3 月 3 日、日米和親条約が結ばれた。ここで注意をしておく、直弼は未だ大老になっていないことである。

この条約の締結により、徳川幕府の「国是」である「鎖国」は解かれたことになる。しかしアメリカが強く求めている通商は実現できなかった。和親条約では、下田港、箱館港の開港。薪水、食料、その他必要品の供給、救助と保護、領事の駐在。などが確認された。

駐日総領事ハリスによって手交された、米大統領の国書は強く貿易を求めるものであった。老中首座の堀田正睦は、紀伊、尾張、水戸の三藩などに諮問。修好通商条約止むをなしの結論をかためる。大名の意見は、打ち払いから通商を望む意向など多岐にわたるものであったが、次第に通商を求める大名たちが多くなった。

それでは、直弼の政治判断は如何なものであったろうか。大老就任は 1858 年（安政 5 年）4 月 13 日。通商条約は 1858 年（安政 5 年）6 月 6 日締結。積極的な政治思想判断があつて条約調印したという歴史事実を紹介した資料は見当らない。考えられるのは、大国・中国（清）の衰退である。アヘン戦争、アロー戦争の敗北は、幕閣に危機感を与えていた。やむをえず、苦渋の調印といえるだろう。幕府、大名の通商条約容認は積極論と消極論に大別されたが、ハリスとの交渉は岩瀬忠震（ただなり）（積極論）と井上清直（下田奉行・中立論）の 2 人があたることになった。13 回の交渉議論がかわされ、その結果、条約及び貿易章程の調印になった。自由貿易神奈川、長崎、箱館、新潟、兵庫、下田の開港。江戸、大阪の開市。アヘン輸入禁止である。（つづく）

### バスハイク 天羽湿原 靱糠山

10月18日～19日 谷口信子

秋晴れの登山日和になり、ずーっと美しい紅葉を眺めながらの楽しい山旅でした。ブナ林、ダケカンバ、湿原と黄葉尽くめで、カツラの木の甘い香り。山頂は狭いですがアルプスの山並みを見ながら、ランチ。素晴らしい絶景を堪能しました。

環境保護の観点から、携帯トイレテントブースが設置されています。湿原内はストックの先にゴムキャップを付けるように指示されたのですが、持っていくのを忘れました。反省点です。

今回も沢山の花の名前を教えてください、印象的な名前は、ママコノシリヌグイ、アキノウナギツカミです。

旅行支援クーポン 3000 円で色々とお土産も買えました。

CLさん SLさん 皆さんありがとうございました。

### 雁ヶ腹摺山

10月26日～27日 谷口信子

新幹線から見た富士山

岩殿山から見た富士山（登山口から1時間で富士山を堪能出来る）

雁ヶ腹摺山から見た富士山

姥子山から見た富士山

どこから見ても優美で、うっとりする富士山です。

宿泊先は、今年3月オープンしたホテル東横 INN 富士山大月駅前でした。

山小屋、民宿とは違う新鮮な宿泊経験でした。

天候にも恵まれ、楽しい時間でした。

皆さん、ありがとうございました。



## 天生湿原、靱糠山 バスハイク

10月18～19日 岩崎京子

岐阜県の北部、白川村と飛騨市との境に位置する天生湿原、靱糠山。ワクワクしながら参加しました。

一日目 飛騨市古川町にある朝霧の森コースを散策。

いい香りがどこからか 漂ってくるのです。周りの人が、”カツラの木の甘い匂い”と教えてくれました。道の両側の草花が私たちを楽しませてくれました。見落としてしまいそうな、小さく、可憐な花が多かった。福田 SL に花の名前を教えてもらいながら、説明を聞きながら、幸せな気分です。

ママコノシリヌグイ いつ頃、誰が名付けたのかな？ 強烈な印象でした。

皆さんの花知識には何度も驚かされました。

宿泊は”やまびこ館”山に囲まれた静かな場所にありました。

夕食が何ともゴージャス！ 夕食後のミーティングは良かった。自己紹介と翌日の予定を説明してもらいました。

二日目 絶好の山日和。天生峠登山口から出発した。

朝に霜が降りたのか木道はツルツル。転ばないように慎重に歩いた。

ふと顔を上げると、赤、黄、オレンジ色とりどりの美しい景色が広がっていた。

湿原の縁の灌木のみごとな紅葉。ナナカマドの真っ赤な実。

青空をバックに紅葉した湿原は穏やかで、キラキラ輝いて見えた。

湿原を後に靱糠山山頂をめざした。ブナ、カツラ、ダケカンバ どの木も大きい、巨木 そして老木ばかり どっしりとした存在感、独特の雰囲気圧倒され続けました。そして木々がそよぐ風の音に耳をすましながら、自然林の中を歩ける喜びと楽しさでいっぱいでした。

木平分岐からは急な登りが続いた。木の階段で狭く急勾配、緊張の連続でした。山頂に到着した時はホットしました。山頂は狭い場所でしたが、眺めが良く、北アルプスから御嶽山まで一望でき大満足でした。

深田 CL,福田 SL,草場 SL そして美恵子さん、お陰様で新入りの私最高に楽しませて頂きました。ありがとうございます。全国旅行支援の利用お世話になりました。うれしさ倍増でした。同行の皆さま楽しいバス旅をご一緒できありがとうございました。

## 四国剣山 祖谷蔓橋、平家屋敷

10月27,28日 鈴木純子

普段歩きなれていない膝の悪い人、視野の狭い人、心臓の悪い人、ハンディを沢山持った老人の集団、物忘れ、耳の遠い、指が痛いなど、集団はまだまだ数え立てれば病気や障害のある事、、、、。それゆえにハンディをもったものが全員頂上にたどり着いた時の達成感は一人の19倍になった。

一番スリルがあったのは下りリフトの最終時刻が4時半とリーダーに言われたことだった。下りの苦手な人から順に降りていたが、滑ったり転んだり時間がかかる。時計はあと16分。早い人がリフトを止めてくれるように交渉するために数名が追い抜いていき残りは順序良く下り続けた。順にリフトに乗り素晴らしい紅葉を満喫する。つい「秋の夕～日に」と歌が出る。なんて幸せなんだろう。

順調に次々に見学を済ませ、帰りのバスに乗り上手な運転手さんのおかげでほぼ定刻通り4時ごろ帰着できた。

鈴木洋一リーダーはきっと多面的に人間をとらえることのできる人なんだろう。どんなに時間がかかってもせかせることなく、じっくりと全員を視野に入れ、必要なアドバイスをかけ続けた。また美喜子さんはぼけた私に迷子防止の目を配ってくれた。本当に楽しかった！

## 四国剣山と大歩危小歩危

10月27～28日 上脇和子

ずーっと行きたいと思っていた四国剣山、みんなと一緒にしっかりと登れたこと、初めて一緒に登った方々と楽しいお話しができ笑顔いっぱいよかった！ CLの鈴木さんSLの山下さんご一緒のみなさんほっこり楽しい山行ありがとうございました。

## 目俵・インドアクライミング

10月29日 福田設子

会報を読んでいるとクライミングを楽しまれている様子が、生き生きと伝わってきます。目俵ってどんなところかな？壁ってどんな感じなんだろう？みなさんの登るところを見てみたいな。とっていました。そのことを和泉さんと久保さんに話すと「西山でやってみるのがいいですよ」とアドバイスを受けて、また馬場さんの案内にある、易しいルートもたくさんあるので・・・の文言を信じて参加することにしました。

ハーネス 靴 ストッキングもお借りして、3日前から落ち着かない気分です。不安に思う気持ちと新しい事を体験出来る期待感と半々になったり、ない交ぜになって不安が広がったり。

当日、これが壁なんだ!! と見上げました。高い！カラフル！基本的なことを教えてもらい登ってみることに。無我夢中でした。持つところをつかむこと、足を運ぶこと、もう無理！と上を見ると最高点が・・・しっかりと両手でタッチしました。登れた!! 嬉しかったです。

2回目挑戦したのですが、腕の脱力感で中止、しばらく休んで3回目に挑戦。特に左の腕は力が入らない状況でしたが1回目よりみなさんのアドバイスが聞き取れました。これ以上無理、もう終わりと思った瞬間、すうーと体が引き上げられて、石に手が届く不思議さ。猪倉美佐子さんが確保してくださったのですが、手綱さばきの絶妙さに助けられて、最高点をタッチできました。

坂道を必死で自転車漕いでいると、後ろからスーと風が吹いて、または神の手がそっと押しつけてくれて気づいたら急坂を登り切っていたと言う感じです。

楽しい、ドキドキの半日でした。皆さんお世話になりました。インドアクライミングに参加したご縁で31日の金比羅山・Y懸尾根にも参加出来て、わたしのやりたかったことが2つ実現できました。ありがとうございました。

## 熊野古道・中辺路ルート①

11月1日～11月4日 峯尾靖子

11月1日から4日までの3泊4日で世界遺産となって18年の熊野古道を歩いてきた。

20年前の12月、1泊2日で「ちかつゆ」まで歩き、奇しくも同じ宿に泊まっていた。当時の事で強烈に覚えているのは2点。

メンバーの一人がブレーキのため真っ暗の中、山道を歩いた恐怖と大杉のそばに立つ茅葺きの長閑な茶店の風景だけだった。

そして今回はラッキーにも「旅割」がはじまっており、さまざまな工夫と労力の甲斐あって3泊とも恩恵を受けられることになり正に「ヤッター！！」の気分だった。2泊の連泊で宿に不要な荷物も置き、オマケに温泉付き。宿の主人との度重なるやり取りで段取りもバッチリのはずだった。

しかし・・・である。チェックインして旅割の手続きをする段になってトラブル発生。「奈落の底に突き落とされた気分」とはこの事？

「身分証明書」と「3回のコロナ接種証明書」持参はマスト。我々は「健康保険証」＋「3回のコロナ接種証明書」を提出したが、和歌山県では「写真付きの身分証明書」が必要で「健康保険証」では駄目だと言われてしまった。

予約時点で説明されればそんな重要なことを聞き漏らしたり、忘れるはずはない。3泊目の宿を予約したCLの能登さんも「写真付きの身分証明書」に関しては宿からなんの説明も受けていなかった。

2泊8人の旅割額はクーポンを含め実に約12万円。なんとか必死に交渉し

帰宅してから「写真付きの身分証明書」の「写メ」を送ることで決着。宿の食事は想像外に美味しく一同ヤレヤレ！

しかし・・・である。翌日、前日の言を翻し「今すぐ「写真付きの身分証明書」の写メを送れ」と要求が変わった。

8人中7人だけは家人や親戚に写真を撮って貰いなんとか要求に応えることができ旅割の恩恵を受けられることになった。

天気良く、宿の食事でも申し分なくルンルンの中辺路ルートの出だしだ

ったが・・・私にとっては実に苦い「ちかつゆの宿」なってしまった。  
宿の主人曰く「今は「身分証明書」と言えば「運転免許証」か「マイナンバーカード」か「パスポート」なんじゃ。いい年をしてそんなことも分からんのか」

3泊目の川湯温泉の宿ではなんの問題もなく「健康保険証」と「3回目の接種証明書」であっさり手続きが完了した。

3日間で10万歩を歩き、古人が歩いた古道と奥深い山なみを堪能した。

帰りの特急列車に乗り込む前にギリギリ買えた「暖かいあんかけ焼きそば」と冷たいビールが無かったらエネルギー切れの私は一体どうなっていたらろう？



## 百里ヶ岳

11月3日 猪倉美佐子

久しぶりの百里ヶ岳、百里新道の記憶が定かでないが山は秋色できれいだった。下山口近くで花の咲き終わったナツエビネを見た。4年前に生杉辺りで咲いていた可愛い花を思い出した。



## 熊野古道・中辺路

2022年11月1日～4日池澤晶子

世界遺産「熊野参詣道」を歩きたいと思いながら、これまでチャンスが無かった。近頃は行きたい山も少なくなり、今回参加させてもらうことになりありがたかった。天候に恵まれ、中辺路コースの滝尻から熊野本宮大社まで、奥深い樹林に包まれた道や舗装道も含め三日間延べ10万歩以上を歩いた。登ったり下ったりの連続の道、道幅いっばいに石が敷き詰められ苔むした湿った石の道など、滑りやすくヒヤッとする場面もあった。軽々と歩けると思い込んでいたが、そのような簡単な道のりではなかった。しかし平安時代から現在も続く霊場の参詣道を無事に歩け、念願が叶い嬉しく思う。また連泊した宿は温泉かけ流し、泉質がヌルヌルで肌に優しく疲れも取れ天然温泉を満喫した。食事も手作り感満載でおいしくいただいた。三日目の宿は川原を掘れば温泉が湧く珍しい川湯温泉だった。満天の星空を眺めながらの川湯の露天風呂は初体験。ゆったりつかって気分は最高。知らない方の旅談義を聞きながら、時間のたつのも忘れ楽しんだ。おまけに、10月11日スタートの全国旅行支援割引とクーポン券を受けラッキーだった。思い出に残る楽しい泊山行になった。

CL 能登さん、SL 峰尾さん、大変お世話になりました。感謝、感謝です。ありがとうございました。同行のみなさん、ありがとうございました。



## 武奈ヶ岳

11月6日(日) 野沢 昭二

当日は好天に恵まれハイカーが多くバスも満員、駐車場もマイカーでいっぱい。登山口では比叡山遭難防止対策協議会の方が登山届の提出を呼び掛けておられ皆さんが登山届を書いている中、旭CLがクラブから既に届けていることとYAMAPの使用を告げるとスツと通してもらいいざ入山。青ガレイではなかなかの岩場があり注意が必要でしたが面白い道が続きそこから金糞峠を通過しコヤマノ岳を登ったところで何回目かの休憩。この辺りはブナの木が多く色づいた葉が見えるところでしたが残念ながらすでに落ち葉になっていました。又、2回目山行の集中登山(権現山～蓬莱山)で道端の草花を見つける楽しさを教えていただき、今回も結構下を見ながら探していましたが全く見つけることが出来ませんでした。季節が終わったか知識不足のどちらかです。そしてコヤマノ岳から武奈ヶ岳への最後行程は山頂がすぐそこに見えるのに一旦下だってから200mほど急坂を登る精神的にも過酷なものでしたが山頂の景色はすばらしく琵琶湖ブルーや沖島等を綺麗に見ることができました。帰りは北比良峠を經由して大山口に戻る工程。登りの疲労が溜まりだいぶ膝がガクガクしていましたが、みなさんペースも乱れず平気な顔で下っておられ鍛錬の度合いが違うなど尊敬しました。緊急時に効く芍薬甘草湯68番も教えていただきましたので購入予定です。

今回で西山ハイキングクラブの山行は3回目の参加でした。1回目、2回目の参加で「山は一人よりみんなで登るものだな」と感じ、今回も「みんなで登ると楽しく、安心感で見える景色も違うな」とまた実感しました。ありがとうございました。次回もよろしくお願ひします。



## 月山富田城・米子城・鳥取城

11月7日・8日 西尾久枝

個人では山陰方面には車では行っていた。今回は特急等を利用して京都～スーパーはくと、何と岡山からの智頭線ではディーゼルに変わった。驚きであった。特急にて行動するもけっこう時間がかかるのだ。

★鳥取城跡～天守跡迄は時間の余裕なく登りきった。秋空の中、砂丘と日本海の展望が見渡せた。すぐに下山、中村さんのガイドも少しであったが夕食の後一同集まり詳しく資料を見ながら説明を受けられた。

★米子城では中村さんのガイドの案内と資料を見ながらゆっくりと、杵形虎口から登り、本丸・天守台では真正面に雄大な大山が青空にそびえ立つ。360度の大展望である。大満足である。

★湯快リゾート皆生温泉では接種証明と身分証明で長い列をなし温泉も混雑しないように入浴時間を記入し、コロナ感染対策がされている。

★安来市の月山富田城に行く前に境港の水木しげるロードを散策する。道の両側に177体の妖怪ブロンズ像がくる人を見守ってる様である。童心にかえてポーズを撮ったり楽しんだ。

★安来市の月山富田城（とだ城）戦国大名尼子氏の居城（難攻不落の要塞）。ガイド中村さんの案内と資料を見ながらゆっくりと戦国の覇者に思いを馳せながら七曲りの階段を越え本丸へ

企画して下さった林さん又急遽タクシー等手配して頂いた村田さん資料の手配やガイドして頂いた中村さん 本当に有難うございました。

秋澄むや まのあたりなる 伯耆富士

七曲りす 登城道や 天高し



## 第 36 期 第 12 回運営委員会の報告

日 時：2022 年 11 月 10 日（木）午後 7:00 - 9:00

場 所：西山事務所 2 階

出席者：馬場重明、安達正明、深田雅子、依田敏夫、永柳辰夫、操谷俊之、  
高垣真二、田村太二、福井京子、福田設子、山下美喜子、横井重信、  
吉谷由美子 (13 / 17 名中)

### 1. 連盟関係の報告・取り組みなど（「京都労山」も適宜参照）

(a) 常任理事会・理事会（安達・深田・山下・依田）

(b) ハイキング委員会（山下、木地）

11 月 20 日（日）：交流山行 → 天候不良により中止

(c) 自然保護委員会

(d) 女性委員会（日野、北）

(e) 教育遭対（能登）

第 15 回初級登山学校が開校中。会からは 1 名受講

12 月 9 日：冬山連絡会を開催

(f) 救助隊

i. 救助隊の遭難ガイドラインの見直しを進めている。

ii. 救助隊遭難捜索訓練：11 月 12 日（土） - 13 日（日）に実施

(g) 事務局長会議（11/8 Web 開催 依田）

i. 労山カレンダー：12 月 10 日までに入金。

ii. 11 月末時点での会員数の調査：12 月 15 日（木）までに報告

### 2. 協議事項

(a) コロナ禍での例会などの取り組みについて

また感染者が増加しています。第 8 波になりそうです。

引き続き注意を呼びかけながら安全登山をお願いします。

(b) 第 37 回総会について

議案書・役員推薦者、議事運営の確認をしました。

(c) 持病・常時服用している薬について

持病がある方は各自記入して山行時には持参してもらうような「緊急時対応カード」を総会の議案書とともに郵送しました。

3. 専門部の取り組み

(a) 山行部 別紙部会報告を参照

(b) 教育部 別紙部会報告を参照

(c) レク部

(d) 機関誌部

(e) 組織部 別紙部会報告を参照

4. 新入会員および退会者

12月1日付けでの入会申込者はなし。

11月末日付けで退会：安井 昇太さん

11月1日付けで会友移行

桐村 弘子さん；清水 伊都子；竹部 てらすさん

2022年12月1日時点での会員状況：会員 131名 会友 19名

5. 連絡事項・その他

(a) 11月11日（金）の自然保護セミナーは講師の都合で中止

(b) 連盟事務所は移転する予定

(c) 次回運営委員会（第37期の第1回運営委員会）

12月8日（木）：午後7:00 - 9:00 西山事務所 2階

.....

■山行部からのお知らせ（久世谷登志子）

中止になった山行です。

- 11/19 北山・麩村八丁 CLの都合により
- 2/15 唐櫃越え～京大桂キャンパス //
- 12/10 いろんな道からポンポン山 //
- 11/20 雲取山 雨予報のため

## 11月山行部会報告書

日時 11月4日(金) 19:00～20:00

場所 西山事務所2F

参加者

司会 田村さん 報告者 深田さん

岡庭美恵子 鹿島和子 木下裕子 小西弥生 田村太二 永本芳江 林ただし  
馬場重明 深田雅子 松野周治 依田敏夫 吉谷由美子(12名)

討議事項

1)ヒヤリハット

9月24日(土) 京都1周トレイル東山③ 蹴上～浄土寺橋

前半の登りでKさんが腹痛による体調不良の為長い休憩をとるが山頂迄は無  
理との事で途中一人付き添って待ってもらふ。その後合流して下山する。

9月30日(金)～2日(日) 石鎚山 弥山・天狗岳

数名の足攣りあり。

10月12日(水) 比良・比叡トレイル・・・横谷峠～武奈ヶ岳

御殿山から坊村への下りでYさんが左足をくじいた。左足首テーピングし水分  
補給してもらい荷物を分散して歩いてもらう。後日受診されるが異常はないと言  
われたと。

2)例会追加・変更

12月6日(火)一般 道なき道 ポンポン山 CL林ただし SL木地

12月25日(日)一般 天王山 CL猪倉美佐子SL猪倉清

1月15日(日)一般 道なき道 ポンポン山 CL林ただし SL山下

1月29日(日) 雪 近江高島～鳥越峰 CL猪倉清 SL未定

2月4日(土) 雪 大平山(余呉湖西)CL猪倉美佐子SL猪倉清

2月9日(木)～10日(金)ビスタリー高野山 CL林謙佐朗SL草場克彦

2月11日(日) 雪 北小松～ヤケオ山 CL猪倉清 SL未定

2月18日(土)ビスタリー 菖蒲池～長尾山～嵯峨天皇陵CL松宮SL西尾

2月25日(土) 雪 比良・小女郎が池～ホッケ CL林ただし SL井上

3月11日(日) 雪 広河原～小野村割岳 CL猪倉清 SL未定

中止

2月15日(水)唐堰越～京大キャンパス CL松宮

12月10日(土)いろいろな道からポンポン山CL馬場SL島田・永本  
ほぼ達成した為終了とする。

3) 日帰り個人が持参する救急セットについて

個人医薬品携帯の調査を行う。

対象:会員全般山行回数の多い人から10名程選出する。会長・山行部長  
も加える。それをもとに山行部で話し合いリスト作成

担当者・・・林ただし・鹿島・永本

期間はできるだけ早くしたい(完成までの日時未定)

4) 来年1月の新年会について・・・1月5日(木) 予定

5) 2月12日(日)山行計画会議の後何をしたらいいか?

山行のプレゼン、特別山行のプレゼン、山の面白い話等したらと意見  
が出ました。次回検討します。

参加者が増えるように呼びかけの方法なども考えていきます。

6) 来季の役員・担当等を決めるのは次回

解散報告先担当案

運営委員会・各部関連(林ただし)

超らく・らくらく(五十棲) ビスタリー(鹿島) 一般(岡庭)

健脚・雪・テント(小原)

7) 公開バスハイク

11月3日 百里が岳で行いました。

一般参加者2名 71歳男性(島本町在住)61歳女性(向日市在住)

会員18名参加 合計20名で行きました。

特にヒヤリハット等もなく楽しめました。高速を使わなかった為予定の金額で  
収まり黒字が出たため個人に返金せず西山の特別会計に入れました。

8) 36期の報告と37期の方針について議論しました。

次回山行部会 12月1日(木) 西山事務所2F 19:00～

司会 深田さん 報告者 日野さん

## 第 1 2 回教育部会の報告

日 時 11 月 17 日 (木) 19 : 00 ~ 20 : 15

場 所 西山事務所

出席者 : 安達正明 池澤晶子 和泉奈緒美 以西貞子 永柳辰夫  
北千恵子 本地弘恵 久保まさ子 島田江里子 新谷純子  
~~田村佐多子~~ 中村好夫 西尾久枝 能登恵美子 馬場重明  
福田設子 堀本信行 森友野 (11/18)

### 1 第 11 回部会以降の取り組み結果

- \* 10 月 30 日 (日) 中級教室実技 岩場歩きとロープワーク (馬場) 20 人参加 富川道の河原でロープワークの練習 午後から堂山の頂上まで往復 補習としてロープをピンと張る実習をする。3 つの基本の結び方の事前学習を呼びかけたので、エイトノットやボーラインノットをしっかりと学べた。

### 2 当面の取り組みについて

- \* 11 月 18 日 (金) 初歩の岩山歩き 三上山 (馬場 久保) 表登山口 ~ 縦走路を予定
- \* 11 月 20 日 (日) 中級教室 第 7 回 (座学) (馬場)
  - ① リーダーの役割と任務 (馬場)
  - ② 具体的事例に基づくアクシデント対処法 (中村)
  - ③ 雪山を学ぶ (林ただし)今日までの申し込み 20 人
- \* 12 月 4 日 (日) 愛宕山ペース登山 (島田 福田)
- \* 12 月 13 日 (火) 初歩の岩山歩き 小野アルプス (馬場 福田) 予備日 12 月 16 日 (金)

### 3 第 36 期の会計報告 (和泉)

- \* 第 37 期の教育部の体制について  
部長 福田設子 副部長 和泉奈緒美 島田江里子  
新入部員 伊藤明代 瀬古京子

### 4 第 37 回総会案内 (馬場)

### 5 忘年会について (予定 12 月 15 日木曜日)

## 36期第9回組織部会議事録 2022-11-02

日時：2022年11月2日(水)19:00～20:30 場所：事務所2F

司会：岡庭美恵子 記録：野村輝行

参加者：岡庭美恵子 操谷俊之 春豊子 夏原典子 野村輝行  
山下美喜子 吉田京子 横井重信 (8/9名)

### 議題① 集中登山について

#### (1) 各コースからの報告

各コース担当より、10月号機関誌山行報告には掲載されていないが、要共有化事項について各Gより報告、今後を踏まえ共有化を行った。(以下、部内のみでの共有化事項として報告)

##### <1コース>

- らくらくコースとは言え、個々参加者の日頃の山歩きの状況差が出ていたようだ。参加者のニーズの在り方にも検討必要。  
でも全員そろって下山出来て良かった。

##### <2コース>

- 日頃よく歩いている人、歩いていない人の歩行テンポに差がみられたが、ゆっくり歩く方に合わせて、グループとしてまとまって行動できた。

##### <3コース>旭さんのコメントから

- 小女郎池を中心に他コースメンバーと交流できたこと良かった。
- 無料リフトを楽しめたこと、天気に恵まれ良かった。

##### <4コース>

- 3グループに分けた。各グループへの振り分けは、個々メンバーの歩行レベルを考慮して実施。結果として、グループ毎でまとまって歩行できた。但し、グループに分けると、列が長くなりがちで、後続の他団体グループへの影響が気になった。

##### <5コース>

- ロープウェイ山頂駅で解散したが、下山はロープウェイでとの指示を失念した。メンバー1名以外は、同じロープウェイで、下山したが、残りの1名は徒歩の下山の可能性もと不安になった。しばらくして、後のロープウェイで下山したとの連絡を受け、ホットした。

(2)一言感想から見えるもの

- ・他コースメンバーとの出会いがあり良かったとのコメント多く、集中登山としての評価は高かった。担当の旭さんのコース選定、時間設定によるものと評価できる。

(3)次回に向けて

- ・本年度の皆さんの声を受けて、集中登山ならではの楽しみ、コミュニケーションの場を皆さんが共有できるような計画を立案、次回も実施して行こう。

議題② 副部長について

- ・前副部長/旭さん退部に伴う、後任の選出について  
操谷さんを選出。

部長のサポート、相談役として、部長より操谷さんをお願いしたい旨の提案があり、操谷さんの了解もあり、後任決定。

議題③ 部員の拡充について

- ・どんな方法が考えられるか

運営委員会において、組織部として下記提案を行うことを確認。

⇒運営委員会において、各部員の在り方の確認。各部の有効な活動を実現する為、各部部員候補の選出等、適正配置を実現することを提案する。

議題④ 次回部会&忘年会について

- ・日時：12月7日(水)18:00～

18:00～19:00は、部会を実施。終了後、忘年会を開催する

- ・場所：キッチン・タロー      ・部会：司会：加藤さん、記録：操谷さん
- ・会費：2,000円（酒代は個人持ち）

議題⑤ 今後の部会開催日について

有力候補日として、機関誌編集・印刷(火 or 木曜日)の終了後が良いとの提案があった。昼間時間帯の開催の場合、無料駐車場の確保に難の声があった。次回(12/7)の部会で再検討することになった。

## ロープウェイ・リフトを利用して

藤本眞弓

西山 HC のアルプスの例会はハードルが高すぎて参加不可能のため、山好きの夫とアルプスのゆっくり登山を数年前まで楽しんできました。

しかし、最近では夫婦共々体力が落ちてきたので、ロープウェイやリフトを利用して 2000 メートル～2500 メートルぐらいの山を楽しんでいます。アルプスの頂上まで行かなくても途中のいいポイントまで行くことができ、絶景を見ながら 4 時間～5 時間ぐらい歩くことで、結構達成感を感じることができます。

昨年の夏は入笠山、立山一の越まで、秋は紅葉の白馬梅池、白馬八方へ、今年の夏は車山と白駒池、秋の紅葉時期は白馬岩岳、白馬小遠見山、立山室堂散策などを楽しみました。

西山の例会でリフトやロープウェイなどを利用したジャンル“ビスターリ”や“楽々”山行なら今の体力でも、みんなと絶景を見ながら歩く事ができ、もっと楽しいだろうなあと感じながら歩いています。



白馬岩岳からの白馬岳



白馬八方からの白馬岳

『月の満ち欠け』 佐藤正午著 岩波文庫

輪廻転生、車輪が回るように何度も生死を繰り返しながら生まれ変わる。昔からよく聞く話で、愛しながらも不慮の事故で死んでしまい、再び生まれ変わり愛した人に会いに行く。だがこの小説が大きく違うのは、過去・現在・未来を複雑に絡み合わせ読者を異次元の世界に誘うように巧みなストーリーを組み立てた小説になっていることだ。

映画『月の満ち欠け』2022年12月2日公開予定

監督 廣木隆一

キャスト 大泉洋 有村架純 伊藤沙莉 柴咲コウ

廣木隆一監督が、過去・現在・未来を縦横無尽に行き来する筋書きをどのように映像化し、涙を誘う構成にしたのか楽しみ。

『収容所からきた遺書』 辺見じゅん 文春文庫

実際にシベリヤに抑留され帰らぬ人となった日本人捕虜山本幡男をモデルに書き上げたノンフィクション小説。

シベリヤ強制収容所に抑留された日本人捕虜たちに零下40度にもなる過酷な環境の中、周囲の人々を励まし続けた山本幡男。捕虜を教育し、日本を社会主義国家にしようと捕虜を日本に帰国させようとしめない政治局員に抵抗し、彼の仲間思いの行動と力強い信念が多く捕虜たちの心に生きて帰る希望の灯をともした。

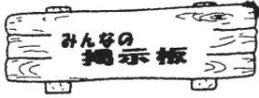
映画『ラーゲリー（収容所）より愛を込めて』

2022年12月9日公開予定

監督 瀬々敬久

キャスト 二宮和也 北川景子 松坂桃李

普通の心優しい人を演じることの多い嵐の二宮和也が生きることを諦めかけた人へ、シベリヤで究極の選択を迫られた人の行動を通し、生き抜くという強いメッセージを発してくれている。



## 「登山時報」購読ありがとう

永柳辰夫

労山活動の一環として、京都府連盟でも購読者を増やす呼びかけを続け、私達も購読者を繰り返し求め続けながら、運営委員を中心に購読数確保を担って来ました。結果、継続・新規の29名の購読となっていました。私も運営委員になってから購読するようになり、取り纏めの担当を引き継いでいました。今期3月号まで前納してもらっている26名の皆さんには、来期の会費等納入額から清算返金としますので、ご了承願います。季刊誌となっても関心を持っていただきたいものです。これまで購読いただいた皆さんに感謝申し上げます。

### 登山時報からのお知らせ

月刊誌「登山時報」は2022年12月号を最後に、来年度からは「季刊誌 登山時報」として再出発します。

季刊誌は春号・夏号・秋号・冬号の年4回発行する予定です。これからもご支援をよろしくお願いいたします。

また、月刊紙「(仮称)労山ジャーナル」A4判8頁建てを毎月発行して、全国連盟の活動報告や行事案内などを掲載していきます。

「季刊誌登山時報」はA4判と一回り大きくなります。電子媒体(PDF)やJWAFのホームページ上で閲覧できますが、これまで同様に紙媒体・冊子での購読を希望する場合は有料になります。

紙媒体・冊子の購読料は年間1000円(消費税・郵送料込)で、冊子は購読者が指定した自宅等に直接郵送されます。

詳細は12月号でご案内します。

参考：登山時報の変遷 2022年11月号「ふみあと」より抜粋

1970年代は労山の成長期であり組織が拡大するにつれ様々な制度が整備された。「山と仲間」が創刊されたのは1970年12月。それまで会員向けに発刊されていた「全国通信」を「山と仲間」に改題して出発したが、「山と仲間」は会員のみならず一般登山者を読者と想定した総合月刊山岳雑誌だった。一般書店でも販売されるようになり、1973年東京で137店、その他地方で132店に取扱店が拡大されたが、1986年3月号で休刊。後を託されたのが「機関誌・登山時報」でした。登山時報の原点はもともとあった組織内向け「組織・連絡ニュース」を1974年に「機関誌・登山時報」として決定されていた。この間1993年1月号から表紙をカラーグラビア化したり、2006年10月号からカラーページ16頁を導入したりし、今日に至っていった。



## 12月 パッチワークのご案内

連絡窓口 鹿島和子 ☎ 080-5343-3111

木下敦子 ☎ 090-2109-7036

講師 瀬尾由紀子さん ☎075-955-7592

サポートセンターはコロナ感染防止の為、「きりしま」「もみじ」を1つのペースとして12名以内、利用時間は1日に2時間以内です。

12月13日(火) 10時～12時

12月28日(水) 10時～12時



どじょっこふなっこ 12月のオカリナレッスン

No. 247

\*日 時 2022年12月12日(月曜日) 第2月曜日

\*場所 時間……長岡京市町屋 9時から開いています。9時30分～

\*講師…島崎愛子先生

\*乾杯・君をのせて・春シリーズなどの楽譜を持ってきてください。

\*マスク持参・家で体温をはかってきてください。

\*1月の練習日は1月16日第3月曜日・町屋です。

\*問い合わせ先 久保田和美 090-5360-7149

山下美喜子 090-2100-4084



## 表紙絵に寄せて

22, 12 林 ただし

私としての最終の表紙絵は山域ではなく山に向かう西山ハイキングクラブの仲間に登場してもらいました。25周年記念手ぬぐいには25に因んで25人の仲間が記念写真に並んでおられますが、これにその後の12年すなわち12人に記念写真に加わってもらいました。30周年記念名札のイラストの30年は1ジェネレーションで親子3世代が揃う年でもあります。そのイラストは画面の前列右端に整列しています。最近の2年半はコロナ禍に惑わされ、35周年記念イラストは山行きの格好はしているが、マスクを着用してましたね。36年もマスクがはなせませんでしたので36と書いたマスクをさせました。36年に因んで記念写真には36人写っています。これからも仲間を大事にして、楽しく山歩きがしたいなあとの期待を込めています。

**最終稿 独り言** 表紙絵を気軽に引き受けて足かけ7年、少し回想しておこうと思います。

当初、白黒で描くことが条件だったので、仕上がりをデッサン段階にとどめて、主に山・稜線をイメージしていました。山を中心にしたのは無意識でしたが、それはハイキングクラブの機関誌だったからでしょう。稜線以外は、樹林とそれから林間から漏れる背景に見とれたので、樹林を沢山描きました。そのうち、仲間がスナップ写真のように画面に登場しました。山行仲間が絵の中心になってきたように思います。猪池（仮称）は私の好みの場所で、ほとりでコーヒーをすする姿、雪で覆われた池にたたずむ姿はまさに絵になる場面でしたね。さらに、1月号の恒例の写真でも猪池は登場していました。永柳さんか誰かが撮った写真から選んでくれたのですね。雪の赤坂山途中で、行く手をストックで指示してこれから行くぞと意気込みが感じられた絵は当時の連盟機関誌で取り上げられました。他誌ではあまり取り上げていない視点だったので収載されたと思った記憶があります。

依田さんがPCで機関誌を編纂されるようになり、2020年から表紙絵はカラーになりました。カラーに変えて表現の仕方がだいぶ変わったと思います。カラーを白黒画面に置き換えても見栄えするようになるのにてこずりました。出来栄えには今も納得できていません。

表紙絵を描き始めて少したった頃、克代さんから「表紙絵に寄せて」

を付記してみてもと勧められ、絵に物語性を含められるようになりました。絵だけで思うところを伝えるのは難しい事が多いのですが、絵にまつわるストーリーを付記することで勝手に想像をも足し込めることが出来ました。オカリナ演奏にピアノを登場させたり、笛弾き童子、考える人も登場させました。私は歌が好きなのでフィンランディアを思わせたり、お花畑で寝ころんで「放浪の歌」も歌わせましたね。これらのテーマ選定にあたっては我ながら若干暴走気味でしたが。古を忍ばせる場面もいくつか取り上げています。峠の地藏尊、首なし地藏、武奈ヶ岳の鳥居などなど。山の背景を少なくしてしまったのには2年半に及ぶコロナ禍がありました。山行を自粛しているのに山の絵ばかりでは、イライラが一層強まりはしないかと遠慮した次第です。今もその傾向は続いています。一方で、海外トレッキングは日本では味わえない思いがけないことにめぐり合ったので、多数取り上げました。スイス・イタリア、ニュージーランド、フィンランド、中国、ネパールなどなど。海外トレッキングは今後も誰かが企画してくれることを期待しています。海外トレッキング計画にはアークスリーインターナショナル社の大濱さんが頼れる会員さんです。

表紙絵を長く続けられたのは機関誌部スタッフのおかげと感謝しています。福井さん、美佐子さん、依田さんの他、歴代の担当者・克代さん、藤本さん、最近では井上さん、木地さんらには原稿受信時に一言添えていただき励みになりました。重ねて感謝申し上げます。今は「夢は枯れ野を駆け巡る」の心境です。



### 編集後記

操谷俊之

最近朝晩は寒く、日増しに秋の終わりを感ずる頃となりました。2022年も余すところ1ヶ月、私は今年自らが参加した山行の振り返りを始めています。今年も西山ハイキングクラブのおかげで、多くの山に登り、多くの場所を訪ね、数多くの人やモノとの出会いがありました。これまでの機関誌の記事、撮りためた写真を見たりすることにより、その時々々の状況や思いや気づきがより明確によみがえってきました。来年の山行につなげられるよう思いを巡らせています。機関誌部では、より「正確に」「きれいに」「読まれる」機関誌づくりを目指しています。来年も引き続き皆様のご協力をよろしく申し上げます。

## 今月の行事予定

2022年12月

月	日	曜日	行事予定	月	日	曜日	行事予定
12	1	木	山行部会	12	21	水	ペース登山・愛宕山
	2	金	太郎坊山		22	木	
	3	土	金毘羅 太閤道★		23	金	
	4	日	ペース登山・愛宕山		24	土	目俵インドアクライミング
	5	月	古都あるき・大徳寺 伊豆三山(～6) 山行部会		25	日	天王山
	6	火	道なき道ポンポン山		26	月	天王山トレーニング
	7	水	組織部会		27	火	
	8	木	瓢箪崩山 運営委員会		28	水	光明寺裏トレ パッチワーク
	9	金			29	木	
	10	土	山本山～賤ヶ岳★		30	金	
	11	日	Viva唐櫃越え		31	土	
	12	月	天王山トレーニング レク部会 オカリナ	1	1	日	
	13	火	初歩岩・小野アルプス パッチワーク		2	月	
	14	水	光明寺裏トレ ゆっくり西山 比良 インドアクライミング		4	火	組織部会
	15	木	原稿締切日 教育部会		5	水	
	16	金	どこ行こ天王山		6	木	
	17	土	尺代～大沢★		7	金	新春愛宕
	18	日	中級・ポンポン山		8	土	新春愛宕
	19	月			9	日	新春愛宕
	20	火	機関誌作成		10	月	

\* 1月号の原稿締切は 12月15日厳守！

\* 機関誌に乱丁等ありましたら取り替えますので、機関誌部長あて連絡ください。

\* 12月15以後に決まった日程は、ここに反映されていません。

\* ★は雨天・荒天順延または延期の印です。

\* 1月号原稿送付先

- ・山行案内 草場真知子 (machiko93ba@nike.eonet.ne.jp)  
安達正明 (adachi\_m50@mbox.kyoto-inet.or.jp)
- ・山行報告 谷口信子 (nb5\_t2g2@outlook.com)
- ・一言感想 操谷俊之 (toshy715@yahoo.co.jp)
- ・投稿・掲示板・その他 高垣真二 (si2817mt@gmail.com)
- ・リレー随想 上出克代 (ryu1525@gaia.eonet.ne.jp)

### 私たちの合い言葉

- 山を身近なものにするために力を合わせよう。
- 登山によって健康な体と豊かな心を育てよう。
- 登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- 多くの人たちと交流し山を愛する仲間を増やそう。
- 力をあわせて登山のモラルと技術を高めよう。
- 安全で確実な登山思想を身につけよう。
- 豊かな自然を守り発展させよう。



発行 2022年12月1日

発行所 京都府勤労者山岳連盟  
西山ハイキングクラブ

発行者 馬場重明  
京都府向日市寺戸町瓜生 4 - 60

編集責任者 福井京子

事務局 依田敏夫 Tel/Fax 075(392)4914  
〒615 - 8101 京都市西京区川島東代町 38 - 15

HP アドレス [http://web.kyoto-inet.or.jp/people/adachi\\_m/](http://web.kyoto-inet.or.jp/people/adachi_m/)



Web サイト